



じゅこう  
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

今日は特別授業をしていただき、ありがたうございました。

私は、広島や長崎の原爆について少し、理解している方だと思

っていたけれど、今日、実際には池田先生の話を聞いていたら

まだまだ知らないことがたくさんあったことが分かりました。

特に、原爆に巻き込まれた被爆者の方々がどのくらい怪傷を負ったのかを聞いてとてもびっくりしました。

体中が真赤になり、腕や足の皮膚が剥がれてしまうと聞いてとても痛い方だと思っていたけれど、実際、本当にこのくらい痛く起きたんだ、と実感すると、それくらい気持ちにもなりました。

そして、池田義三さんは4年も早く陸軍に入るとも聞いていた、と思

私と差程、年が変わらない男の人が戦争に出て全員に指示を出して今の私がそういう状況だったなら何もできなかった、と思

今日は本当にたくさんのお話を聞くことができて嬉しかったです。

戦争でどれだけの人が悲しんだか苦しんだか、自分の家族が七千人で本当に辛い気持ちになった人がどのくらいを知りました。

本当にありがたうございました。



# 原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

今までに学んだ、被爆地や原子爆弾の名前、日付や時間、  
そんなものはごくごく一部にすぎず、その場にいた人々の状況や  
過酷さなど、深く、深く知ることができ、今回お話していただいたこと  
は、日本人にとって知っておかなければならない重要な知識だと私は  
思いました。約3mという広島という場所にくらべたら小さい爆弾が  
何枚にもわたり、大きな被害を受けたくさの建物、人々が  
重軽傷をおい、後遺症を残し、悲惨な記憶をかかえな  
がら生きてきたこと考えると本当に心が痛みました。

いつなにかどこでおにるか予想することのできない恐ろしいことが  
人の手によりおこり、こんなにも大きい被害がおきたことを  
忘れないようにとらえ、語り続け、二度とおこさないような  
世界ができることを信じて祈りたいと思います。

実際に広島へ行き、爆心地に行つてどのようなことがあり、  
のり越え、今のような姿になつていったのかを勉強に  
行き、より知識を得てきたいです。目をそむけず、当時  
の残された跡を見にいきたいと思ひました。

言葉に表すことのできない程の悲惨な過去を経た今の平和  
感謝しながら日々、暮らしていきたいです。

本日は、私たちに時間をいただき、このようなことをお話してくださつてありがとう



# 原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

特別授業を受講し 動画 や原爆の威力など 印象に残る話がいくつもありましたが、私が特に印象を受けた話は 池田義三さんが 原爆資料館へ行った時、お話を聞いた時、多くの人を見て驚きをする様子。その時、お話を聞いた人が、怪我をしている子を見ても、その子の苦痛の理由は何れも、何かたのたと言いました。ひどい怪我をした人達が何百人も逃げてくる様子は、さながら地獄絵図のようだったのではないかと話を聞きながら思いました。動画で喋っていた池田さんが泣いている所を見て原爆や戦争は私達が想像している何倍も恐いものだと感じました。私は原爆が落した年に生まれていないので被爆者の痛みは分かりませんが、お話を聞き、原爆の苦しみが伝わってきたような気がしました。修学旅行で原爆資料館へ行った時、展示品を見て、自分が買わぬ目を覚めてしまい、それで今から原爆資料館に行くことが少し不安になってきました。



# 原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

原爆を体験した人からの「原爆はそんなにやさしいものではない」という言葉がすごく重みがあって印象的でした。自分は助かっただけで、どうすることもできない気持ちや被爆した人を選んでくる時の気持ちはどんなものだったのだろうと想像するだけでゾッとします。私が当事者だったらどうしただろう、被爆して生きているのがつらくてはやく死にたいと思うのだろうか、兵士で死体を選ばなければいけないからそんなことを私にできるのだろうかと思ってしまうけど、私がどんなに悲慘なことを想像しても現実とは全然比べものにならないものだと思いました。本で自分が読むだけだと、皮膚がはがれてしまったり、やけどで人が人ではないような姿の人がいたけど、今私が生活している中でありえないような話だから本当にこんなことはあったのだろうか、あー（ほしくない）と思っていたけど、今日話を聞いて本当にあった現実の話なんだと実感できました。これまで戦争の話には目をそむけていたけど、それではいけない、当時のことを思い出したくないのに私達に話してくださる方がいる、私達が語り継がなくてはならないと思いました。今日は貴重な機会をありがとうございました。今後とも戦争・原爆について勉強しようと思いました。



# 原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

和は、今までには、小学校の頃の歴史が、始りて来た。

中学の歴史で、少ししか、読んでない。本を讀んで、いって来た。

今日の事は、深く知る事が必要だ。この特別授業で

色々と、いろいろ、話が出来て、分かる。特に、天の事、いって来た。

原子爆弾の温度が、太陽よりも、暑い。比で、

太陽が、6000℃で、原子爆弾は、100万℃

だ。大事に、今、その事、日本に、落ると、本当に、

悪い意味で、「天の事」が、いって来た。

候補と、いって、土地が、3ヶ所、ある。いって来た。

都市の条件、を、細かく、考へて、地図に、計画、いって来た。

いって来た。いって来た。いって来た。

本物、と、いって、いって来た。いって来た。

いって来た。いって来た。いって来た。いって来た。

いって来た。いって来た。いって来た。いって来た。

私的に、いって来た。いって来た。いって来た。

同じ人間が、いって来た。いって来た。いって来た。

話と、いって来た。いって来た。いって来た。

私に、いって来た。いって来た。いって来た。

いって来た。いって来た。いって来た。



名前は裏面に記入してください

## 原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

今回お話を聞かせてもらってまず始めに、本やテレビ番組で感じた原爆へのイメージが全く変わりました。本、テレビだけでなく原爆のことを知り、勝手に同情していた自らをとて恥ずかしく思います。先生のお話で自分が心から感じたものは同情や哀しみではなく恐怖でした。というのも同情や哀しみを感ずるひまは微塵も無く、ただただ恐怖で満ちている時間を過ごさざるを得なかったのです。お話の題名にある7000という数の意味を知った時は体中を何とも言えない冷たさが走りまわりました。3000℃という高温が自分の体を直撃するなど想像すらできないわけですから「未知」の恐怖を感じられませんでした。自分達の世代は原爆の恐ろしさを一生完全に理解することはできないと思います。体験した人にしか分からないということを忘れずに次の世代へ平和の大切さを伝えて行こうと思います。今回は本当にありがとうございました。あたり前のことにようやく気付けたように感じます。その「あたり前」をふりかえった上で今からやっとな原爆について再び勉強し直していこうと思います。



## 原爆先生の特別授業を受講して

じゅうこう

表

名前は裏面に記入してください

私は広島のことについて小学校の時や中一・中二の時などに特別授業という形で勉強したり、お話を聞いたりしていましたが今回の原爆先生の授業は小学校の時よりもより詳しくより繊細に原子爆弾が投下された時の状況だったり人々が困れている様々が表現されていてとても胸が困しくなりました。私が原爆先生の特別授業で一番印象に残っている場所は池田義三さんが広島の資料館でおっしゃった「きれいすぎる」という言葉です。その言葉を聞いた時にとても鳥肌が立ち戦争の恐ろしさが改めてわかりました。

たった一発で被爆率70%、5人に2人が亡くなってしまう原子爆弾とても恐いもう二度と戦争はしてはいけないととても強く痛感しました。

また、私達は修学旅行で広島に行くのでその時に今日受講したことを心にとめておき資料館に行った時も「当時はこれよりもひどい状況だったのだ」ということを思いながらじっくりと資料館や被爆者の方の話をよく聞き、広島原爆という恐い出来事を脳内に焼きつけておこうと思います。

今回は私達の為に時間を割いて講演していただきありがとうございました。とても為になり有意義な時間になりました。



# 原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

。戦争とは何か？、そうして問いかけられた時、私はいつもと同じように「してはいけないもの」という答えをしていました。その言葉は私の固定概念となっていて、今までに戦争についての本や話、映画などを見してきましたが、結局最後に残った気持ちはいつもそうでした。なので、今回原爆先生の話を聞いていて、私の固定概念が覆されるような気持ちになりました。

被爆者の方々の様子などは、知識として知っていました。ですが、先生の話を聞き、改めて今まで自分が、目を逸らしたかった現実が目の前で語られていることに、言い知れない恐怖感で背筋が凍りました。被爆地に近づくと、人が人でいなくなるような恐怖、おびただしい数の死体の山、そして生きたいと願っていても生きられず、地を這うことしかできないみじめさ、そのすべてが先生の話にはつまっていて、何とも形容しがたい思いと共に、涙があふれそうになりました。先生のご家族で行かれた広島平和記念資料館での池田義三さんの言葉、「綺麗すぎる」を勝手に自分なりに解釈してみたのですが、資料館にあるものは原爆の被害にあっていない人がとったのではないかと思いました。多分ですが、池田さんは、原爆の恐怖や不快感などを伝えたくても、言葉にはできないほどの『地獄』が目の前に広がり、その様を言えない悔しさもあったのかなと思いました。今回改めて原爆の悲惨さ、恐怖を感じることができました。今回は、お忙がしいなか来てくださり、ありがとうございます。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

池田義三さんは若くして入隊し、さまざまな辛い任務  
などをしていた。この戦争につくされていたのはとても驚きました。  
原爆を落とす場所を決めるのに時間がなかったこと。  
原爆の落ち方、飛び方などを先生の話を聞いて  
深く理解することが出来ました。

先生が一時静かになると原爆が投下された  
時のその周りの音を再現された時は私が  
想像していた音よりはるかに大きな音で  
衝撃を受けました。7000℃の原爆が今で

言うスカイツリーの第2展望台あたりで爆発したことで、  
被爆者の方はどれだけ辛い思いをしたのか、心が  
苦しくなりました。でも、このように当時の兵隊さん  
などが一生懸命つくしてくれたから、今の日本が  
成り立っているのではないかと感じました。

貴重な池田真徳先生のお話、最後の池田  
義三さんのビデオを見せて下さりありがとうございました。

まだ知らない事も多かったのですが今回の授業で  
より詳しく、分かるように理解することが出来ました。

これからもお体に気をつけてお過ごし下さい。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

今日の講義を聞いて、私は日本人としてもと原爆事故について知り、一生忘れないよう、心に留めておくべきだと改めて感じました。私は広島県も長崎県も行ったことがなく、あまり原爆について知りませんでした。正直、過去にアメリカから原爆を落とされた、という風にしか思っていませんでした。しかし学校の授業や、今回のような講義を聞いて、くわしく知った時、日本人として曖昧な知識のままにしておくべきではない、と強く思いました。約70年前の出来事なので、当事者の方が今でも生きていらしゃいます。今、自分は今回のお話を伺うことができていますが、何十年、何百年も経てば、原爆体験者の方は亡くなってしまいます。ですが、原爆先生のように、ビデオを残しておいたり、今回のように説明して下さる機会を作ること、次の世代の方々、原爆を知らない方達にも、原爆の重大さ、命の尊さ、体験者にしか分からないたくさんのお話を、知る事ができたと思います。先生のお父様は、ビデオで「綺麗すぎる」とおっしゃっていました。この言葉を聞いた瞬間、すごく悲しい気持ちになりました。実際に見た被爆者の方は言葉や模型で表せないほどの見た目だったということを知ったとき本当に辛かったということを感じました。私も原爆先生のように、このような出来事をのちに伝えることができたなら良いなと思います。貴重な機会を作っていたとき、本当にありがとうございました。



# 原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

今回の特別授業を受けて、広島、長崎に原爆が落ちた。それがいつか、  
 死者が涙山でた、という簡単なことしか知らなか。たけども、とくめし  
 知。てより戦争をなぜおこしてはいけないのか、原爆の強さを知れました。  
 天候だけでどこに落とされるかたらし、た。た。この建物で生死が  
 決まるとい。う。ことに不平等さ、残酷さを感じました。広島、長崎、  
 小倉以外にも横浜、新潟、京都が候補にあ。た。ことを知り、横浜  
 た。たら今住んでい。る関東にも大きな被害があ。た。し、より深く考えられ  
 いたのかた。思。いました。広島や長崎は同じ日本でも遠い所で怖。こ  
 深く考えら。う。と思。えな。か。た。所。があ。た。の。今日、より原爆の恐ろしさ  
 知。れ。ました。実際に体験された方の話はず。こ。わ。かり。が。可。い。け。ど  
 想像が大きなことだからでき。て。い。て。怖。い。な。思。う。部。分。が。多。か。た。で。す。  
 全身にやけど、皮膚が手を持つた。け。で。は。か。れ。て。い。こ。と。い。う。こと、自分は  
 絶体にし。こ。た。い。と思。い。ま。した。そして放射線の恐ろしさもとても  
 感じました。10年前の東日本大震災の時からき。い。て。ま。た。放射線とい。う  
 言葉、広島で24万人の人が被害を受けて、14万人の人が亡。か。た。  
 原因にあ。て。いて、より恐ろしさを感。じ。ま。した。  
 今までき。い。た。こと。が。た。具。体。的。で。リ。ア。ル。な。お。話。が。あ。り。ま。し。て。こ。と。も  
 勉強になりました。広島に行。か。た。時、も。と。勉強した。い。な。思。い。ま。した。  
 貴重な経験ありがとうございました。



# 原爆先生の特別授業を受講して

じゆこう

表

名前は裏面に記入してください

今回の特別授業を受講して改めて原爆の恐怖と苦しみを思い知ることができました。私は一度実際に原爆ドームと原爆資料館に行ったことがあります。

その時、原爆の怖さを初めて知ることになりました。今でも覚えています。

原爆資料館で泣いたこと。あんなの怖さに途中で見ることをやめてしまう

ほど、5年前に行きました。今でも原爆資料館で見た記憶は

何一つ忘れていません。しかし今日原爆の怖さは、私が思っている何倍も

いや何百倍も、何千倍も「怖い」ということがわかりました。そして今回

私の心が一番記憶に残っていることが原爆資料館を見た

地団麩三さんが語った一言でした。「執る」

この講義を聞いて衝撃を受けました。実際に経験した人にはわかりやすい

筈です。講義表現で伝えたいが伝えられない難しさ。そして伝えたい。悔しい

が伝わってきました。私は経験したことは、なにかと二度とこのおうちことが

起こらないようにすることは、できるはずですが、今日、学んだことを

周りの人に話したいです。今年修学旅行に広島に行く

予定です。今回学んだことを思い出しながら、原爆ドーム、原爆資料館

を見たいです。今日教えて頂いたことを忘れずにこれからの

平和学習も進んで取り込みたいと思います。

大切な時間を使って頂き私たちに原爆のことを教えてくださって

ありがとうございます。



## 原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

私は小学5年生のときにも、原爆先生の特別授業を受けました。

今でも、広島平和記念資料館で見た人形に対して池田さんがはなした「きれいすぎる」という言葉に衝撃を受けたことを覚えています。また、原子爆弾が爆発した時の、地上温度が3000℃だったということを知り、東京の夏40℃を超えただけでもすごく暑いのに3000℃という数字は、それと比べ物にならない程の温度だと改めて実感しました。

原爆投下によって生じた、数え切れない程の被害から目を反らしたくなることも沢山ありますが、原爆ドームが負の遺産として世界遺産に登録されたように、このような過去がこれからの未来にもう二度とないように、しっかりと勉強していきたいと思いました。

今年の修学旅行は広島に行くので、その時に実際に生でしっかりと見たいと思います。

今日は、実際に体験した、原子爆弾投下からの沢山の貴重なお話を聞け、すごくあという間に、でも重い時間を感じました。

貴重なお時間をありがとうございました。



# 原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

思いや感情は、当の本人にしか分からないと実感した授業でした。辛い記憶や経験は特に。私は、博物館などでも好きで、課外授業では特にためしみにしています。ですが、1つ疑問がありました。恐竜などのもう絶滅してしまった動物が、本当にこの見ためであったか、ということがある。見たこともないのにどうして作れるのかと思っていました。原爆の資料館でもきっと、私は同じことと思うと思います。現代の日本人が、話を聞いて再現するのは無理があると思うからです。実際にそこにいた人ではないと分からないことは沢山あります。部分部分を切り取った資料を見て自分で想像することはできません。理解したと思っても、やはりその場所が嫌という時に五感を使って体験した人でないと理解なんてできないと思いました。先生が途中で「バン」と大きな音を出された時に、とても驚きました。ですが、こんなものではないと話を開いて「うちに感じていきました。中学三年生になって、歴史で戦争について授業で習いました。それまで私は、日本は沢山の酷いことをされたら被害者だ」と思っていました。ですが授業を受けているうちに、清州国の件であったり、沖繩戦で沢山の人が犠牲になっているにも関わらず、負けを認めずまだ勝つと戦争を続けた政府の姿を知りました。そこから私は、当時の日本政府があまり好きではありません。本当の被害者は日本の市民だと思いました。自分の中で色々な感想が湧き上がってくるとてもためになる授業でした。有難うございました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

本日は私たちのために原爆についてのお話をしてくださり、  
ありがとうございました。今までも何度か本を読んだり、テレビで  
見たりするなど原爆について触れることはありましたが、今回  
このようにお話を聞くことができて、とても貴重な経験になりました。  
私は今回、授業の中で広島に原爆が投下された瞬間の様子を  
聞いて、あまりの恐怖でおびえそうになり、つい耳をふさぎたくなって  
しまいました。当時の状況はもともと、と酷かったと思うと、  
胸がしめつけられるようでたまりませんでした。

また、現在は街もきれいになり、当時の様子が少ししか残っていない  
中で、原爆資料館に展示されているものは、当時ものとなべると  
まだきれいだというのを知り、私たちが修学旅行に行き見る  
時は現実はずらに大変だったということを頭に入れておかな  
ばならないと思いました。最後に視聴した動画では本当はつらくて  
思い出してしまうので話したくないのに原爆の話を詳しくしてくだ  
さり、私たちも身近な人にその話をするなどして伝えていかな  
ければならないと思いました。「戦争は二度としないように」と  
言うだけでなく、何事も自分ごとととらえることが何よりも大切だと思  
いました。私もこのことを自分ごとととらえ、引き継いで  
いきたいです。



じゅこう  
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

今回は、100分以上の長いお話を聞かせていただき

ありがとうございました。

スマホなどで検索して、原爆について知ると、実際に

お話を聞くのとでは、感じ方が違い、手に汗をかくほど緊張  
しました。特に、原子爆弾が落とされる時の音が、印象的で

本当に、一瞬にして、町や多くの人が無くなったのだなと思いました。  
被爆した方のお話では、

被爆した方のもとも痛そうな感じが伝ってきて、お話を聞いていて、

怖かったです。私が、あの時、広島にいたら、耐えられず、逃げ出していたと

思うので、17歳の池田 義三さんが、被爆者を助けていたのは、とても

すごいことだなと思いました。お話の最後の池田 義三さんの原爆のようす

についてお話しされている映像では、池田 義三さんが、ゆくりお話をされて

いて、一言、一言の言葉の重みがとても重いものだと感じました。

私は、今まで、広島や長崎に行った事がないのですが、コロナが少しおさま

ってくれば、広島に今度行くので、原爆ドームなど、実際に見てきたいと

思います。今回、原爆について、たくさん教えていただき

ありがとうございました。

今回、とても良い経験になりました。もっと、もっと

詳しく原爆について知りたかったので、他の方の

原爆のお話も、きく事ができたら良いなと思いました。



# 原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

5 / 21

原爆先生の話を小学校6年生の時にも聞いた事があり、今でも鮮明に覚えています。  
 中学生になってより歴史を学ぶ原爆の辛さや被害などが理解出来るようになりました。  
 被爆者ではない私たちが全てをゆかると言える様なそんな簡単なものでは  
 ないけれど、被爆者ではない私が話を聞いていていてとて心臓が  
 痛く、被爆者の言がどこれだけ大変な思いをしたのかというのを考えた  
 だけでも涙が出てくるほど胸が痛くなりました。原爆症がまだに  
 苦しんでいる人がいるという事、時間が経過してがらむと、その人、  
 あるいは被爆後より月以内になくなる。その人がいる事、どれも知っていた  
 事でしたが、広島市の被爆者数が当初の広島市の人口の70%である事、死亡率が  
 40%に及び事に驚きを隠せませんでした。原爆の温度が太陽より  
 1000°Cも高く、衝撃波の速さが音の速さを100mも上回る事、これによって  
 会話が聞けなくなるのを待って階段に座っていた人が階段に人が居たという  
 黒コゲを残して一瞬にして蒸発して消え去った事に驚愕し、これが  
 紛れもない事実があるという事を突きつけられて、目を遠らしたくなる  
 ほどでした。原爆による多大なる影響を及ぼすということ、多くの人が  
 苦しむという事を少しでも沢山のの人に伝えて行きたいと思えました。  
 修学旅行で広島平和記念館に訪ねた際に今日聞いた話を思い出しながら  
 1つ1つを噛みしめて学習しようと思います。今日は原爆の話を沢山  
 教えていただき、ありがとうございました。



じゅこう  
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

5 / 21

ごきげんよう。

今回は、原爆の被害にあった方、軍人さんのことについて話していただき  
ありがとうございました。

私は、今回のお話しを聞いて、初めて軍人さんから見た原爆を知る事ができました。  
今まで、原爆の被害を受けてしまった方、放射線の被害にあった方などは、本やお話しで知っていたので、軍人となる事があまり聞いたことがなく  
貴重な体験でした。

そして、生き残っていられた大半の方は、たまたまだったのが個人的に一番怖  
かったです。そのたまたまが生死が読まると思うと怖気立ちました。

そして、今日のお話しを聞いても、実際は今日話していただいたものを比喩にならな  
いくらい生々しいものなんだと何となく分かりました。

そして、今年の夏に行く修学旅行でどう思うか、と自分の中では思っています。  
やはり、写真を見たり、実際の被害者の方の話や聞くことが大切だと思  
いました。

今回はお話ししてくださってありがとうございました。とてもわかりやすく、  
演出など聞いて感情が入りやすかったです。自分は、今回初めて原爆  
先生のお話しを聞いたので、今回のことがとても印象的でした。  
自分の中では、まだあまり戦争についてわかっていないので、これから  
調べたりしてこうを思いえるきっかけになりました。



名前は裏面に記入してください

## 原爆先生の特別授業を<sup>じゅこう</sup>受講して

表

17歳と高校生にあたる年齢の時に池田義三さんは入隊し、人類として初めて原爆ドームに入って死体処理などをしていて凄いなと思いました。そして原子爆弾を投下する時に天候や様々な条件で投下都市を決めているということができました。原子爆弾の温度が7000℃と太陽の表面温度よりもあったことに驚きました。原子爆弾は地面から600m上で爆発をし、地面には3000℃と鉄が溶け、人は一瞬で体内の水分をうばわれるということを知り原子爆弾の怖さ、恐ろしさについて改めて学ぶことができました。広島県産業奨励館の原爆投下前と投下後の写真を、比較したら投下後は原爆によって残っていたのが主体構造のよくなもののみになっていて驚きました。広島市の人口の5人に2人は被爆により亡くなっていて、死者数14万人の中でその内の2万人は一瞬で亡くなってしまっていて二度とこのようなことをくり返してはならないと思いました。修学旅行では原爆先生に教わって学んだことを生かして原爆についても知りたいと思いました。原爆の悲惨さ、平和の大切さについて学ぶことができました。平和、一人一人の命をあと大切に引き継いでいきたいと思いました。



# 原爆先生の特別授業を受講して

じゅうこう

表

名前は裏面に記入してください

私の最初の原爆へのイメージは、広島と長崎に落とされた爆弾の大きな物というイメージをもっていました。そして最初から長崎と広島に落とすと決められていたのだと思っていました。しかし、私の考えていたことをはるかに越えたものだったことに驚きびっくりしてしまいました。私は初めて原爆雲の発生の仕方を知り、改めて原子爆弾のおそろしさを知りました。現代の私達はこのような原爆についての話をこういう機会がないと聞くことはできません。しかしこのような場で原爆が落とされたからの9日間の話を聞くことができて、原爆のおそろしさを改めて知ることができました。池田義三さんやその他の兵隊の方がとっただけの思いをして、被爆者の方を助けたりのことがよく分かりました。やはり、本当に原爆の様子を見た方をそれを知らない私達が見た記録や遺品の様子へのとらえ方は全然違うなと感じました。私達も今度広島に行く予定なので、被爆した方々の気持ちも考えながら資料を見たりしたいなと思いました。改めて今の平和な日常が続いてほしいなと思いました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅうこう

表

名前は裏面に記入してください

5/21

原爆先生の特別授業を受講して、原爆の恐しさを痛感しました。今までに学習した平和学習で、原爆で起きたことなどを知った気でいましたが、全く実際にあったことはその何倍も非惨であることを知り、とてもおどろきました。特におどろいたのは2つで、「爆破時の熱線や温度」「被爆者の方々の数」です。まず、爆破の瞬間に真上からの熱線、衝撃波が放たれその一瞬で逃げるひまもなくうばわれた命があることに心を痛めました。また、地上の温度が3000℃にもなると聞いて、本当にそんなことが起こったのかと耳を疑いました。次に、広島市の人口の1/2以上の方が被爆され、またその中の半分以上の方々が亡くなり、死亡率が40%で5人に2人の人が亡くなっていったことにおどろきました。このようなお話しから、広島市内や長崎市内で生き残った方々は、本当に奇跡だったのだと感じました。そして、最後のビデオを見て、被爆者の方が、今の世代に生きている私達に当時あったこと、辛い思いをされながらお話しして下さること、また「奇跡なのだ」と心に留めとかんじなければならぬと思いました。今日は授業を行って下さり「ありがとうございました」。今後の平和学習や修学旅行などで「原爆」についてもっと学びたい



# 原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

17歳という今の自分とここまで変わらない年齢で何日も死体を運ぶ、という自分だったらそんなこと何歳になっても出来ないと思うし、原爆による数十年間苦しみを続けるという原爆による被害がそんなに長い間人を苦しめるということを初めて知りました。

原爆による人が一瞬で消え影だけが残るということも、聞いたことはありましたが、どうしても信じがたい出来事なので、想像が出来なかったのですが、写真を見て初めて本当に影だけが残っているように見えたので、びっくりしました。

自分は、「はたしのケン」という作品を読んだことがありますが、やはり、絵だけで目を見えなくなってしまうものが、たくさんあったので、今回の授業で実際の写真で見るとなぜか、普通に見ることが出来てびっくりし、おそろしく現実で起るようなことだと認識できたんだと思います。

原爆雲のような形の雲を多くアニメなどで見かけます。今まで日常風景で見る雲はあんなキョ型をしないのに、なんであんな形をしているのか疑問だったので、今回池田先生に教えてもらって理解することが出来ました。上昇気流は今でも普通にあることなのに、キョ型にならないということは、とても強い上昇気流だと思えます。やはり想像が出来ないです。

今回は、授業をしてくださりありがとうございました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

5/24

私は、原爆について、詳しく聞いたことがなかったので、驚くことはわかりませんでした。

21歳の男子、全員が陸軍に入らなければならぬ。しかも、池田義三さんは、17歳という、私たちとあまり変わらない若さで、人生を戦争につくしていたということにまず、言葉が出てきませんでした。私たちは、学校に行き、友達と楽しく話し、休日には、買い物や遊びに行ったりと、今では考えられないことは、わかり、驚倒しました。

私は、原子爆弾は、床に落ち、当たった衝撃で爆発するのだと思っていました。しかし、本当は、スカイツリーと同じくらいの高さから、熱線と衝撃波が、爆心直下でなるものだと知りました。太陽よりも温度が高い、恐ろしい物を同じ人間が作ってはいけないと、強く思いました。

“戦争は絶対にしてはならない”

“人間の手によって人間を殺す機械を作ってはならない”と、今回聞いていて改めて思いました。

今回は、ありがとうございます。



# 原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

私は、今回の授業を通して多くのことを知ることができました。

① 私は学校の宿題などで原爆のことについて知らべクラスの子と共有をし原爆どのようなもので被害はどのくらいなんだな...って感じでおおまかな内容はしていましたが池田さんのお話を聞き原爆についてくわしく知ることができ恐怖も分かりました。また、池田義三さんも21歳からの徴兵なのに17歳という若さで戦争という大変な場面においてながら人の遺体を運び、火をつけるほどということをしていきました。17歳は今で言う高2の先輩方にあたります。勉強もまともに出来ず大変だと、心にしました。

② 私の祖父は両国生まれで両国育ちです。祖父は戦時中に生まれました。私が少しだけ聞いた話によると東京大空襲が終わった後自分の家に帰ると今でいう浅草の浅草寺まで建物がなく浅草寺が見えたと言っていました。私はこの話しか聞いたことがないので、戦争を体験している方は高年齢の方なのでもっと若い人に知るためには祖父からもうちょっとくわしい内容を聞いてみようと思います。最後に、ありがとうございます今日はとても大切な時間を使っ跡見学園へ来てくださり、お話をしてくださりどうもありがとうございました。



# 原爆先生の特別授業を受講して

じゅこ

表

名前は裏面に記入してください

5/21

私は原爆の授業を通して、原爆が言葉にあらわすことができないくらい壮絶で  
大変で苦しくて、知れないということがよく分かった。1回小学生のときに同じ話を聞いたこと  
がありましたが、前のときは平和学習もしたり、原爆の本なども読んだけれど、前とは違う  
理解や義三さんの思いがより、伝わってきました。70センチの題名の7000人の少年  
というのは広島に投下された「リトルボーイ」のことでそれにより、人が熱くもか  
いて一瞬のうちに死んでしまったけれど私はとても驚きました。背中で死体を  
おんぶするさと女の乳を吸っている人をおんぶするのではまったく違うというのは想像  
はできましたが体験する本人しかその苦しみその嬉しさというのはわかり  
ものなということを知った先生のお父さんが泣いた涙で思いました。  
アメリカの京都に落とされた理由も文化財や日本人の戦後の感情も考慮  
したと言っていました。熊本などにも、長崎や広島にも落とさないで被  
爆者の方たちや亡くなってしまった人々も、原爆症で苦しむ人々も、そして義三  
さんや兵士の人たちにもこんな思いはさせないで夢かな緑でいっはいの平和が  
よかったです。どうしても思いました。でももうおきてしまったことはあとには戻れないので  
こうして日本人や世界中の人たちに知ってもらって、もう二度とこんな思いの人たちを  
増やさない。そしてこんな悲惨な出来事がおこさないようにお父さんの思いを伝える  
先生はとてもすごい人だと思いました。私は修学旅行で広島に行くと、今  
日学んだこともいかながら、もっと平和は大切だということを感じようと思いた。  
2時間、ありがとうございました。



# 原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

5/21

私は、原爆先生の話を聞いている時、あまりに、残酷な話だったので、とてもドキドキしていました。原爆当時の人は、相当の痛みを耐えらるる人が多く、おどろきました。今の私たちは、そんな痛みを滅多に経験しないので、想像もつきませんでした。広島、長崎に原爆が落とされた時の死亡率が、40%だったと聞いて、私たちが今生きていることができている事は、奇跡なんだなと思いました。太陽の表面温度が6000℃なのに、それよりも高い温度の爆弾による熱さが襲って来たときいて、とても怖かったです。1000℃を超える温度というものは、どんな感じなのか知りたくなりました。アメリカの方は、日本の地域はどこに原爆を落とすかなど、そこから落とす所の条件まで決めていて、よく考えていたんだなと思いました。しかし、京都を候補に入れていたにも関わらず、日本の大事な都市だからという理由で、辞めたことを、私はアメリカは日本の事をどう考えているのかと不思議に思いました。

原爆はそれぞれ名前もついていて、都市の大きさによっては、その町全体が壊滅してしまうときいて、とてもおどろきました。

被爆者を助けるために、必死になっている兵士さんたちの話を聞いて、感動しました。先生の一→一の話で、感情が伝わってきました。私は、修学旅行で、ぜひ原爆ドームを見てみたいなと思いました。



# 原爆先生の特別授業を受講して

じゅうこう

表

名前は裏面に記入してください

特別授業の講義をしてくださりありがとうございました。

私が一番印象に残ったのは最後のビデオです。

池田さんが泣いている姿を見ると原爆はなんて悲惨な  
ものだったのだろうと感じました。資料館の人形に

対して池田さんは「きれいですね」とおっしゃられていました。

写真で人形を見ましたが、それでも私は衝撃を受け  
ました。本当に被爆された方はどんな風になって  
いたのかは想像でしか分からないのですか？と「たけ  
なごいものだったのだろう」と思いました。

私はこれまで広島のことについて書かれていた本など  
は読んだことがあったのですが、長崎について  
はあまり知りませんでした。長崎は目標の地点  
に原爆を、かり落とせていなかったから広島より被害

が少なかったのだと初めて知りました。もっと色々  
なことを知っていかねばいけないなと思いました。

広島に修学旅行に行くのですが、それまでにもっと  
戦争のことを考えていきたいと思いました。戦争は  
なぜいけないのかなど、考えがまとまっていけないので  
色々なことを知って考えを深めていきたいと思いました。



じゅこう  
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

5/21

私は、今までに原子爆弾について被害者かど人なのかを  
 知りうとしましては、初めて教わった時、皮膚がエグれて  
 いると聞いて、それ以上聞きたくないと考えたからです。それが  
 は、8月6日にテレビなどで、特別な番組があったとしても、  
 見ようとはしませんでした。自分から調べようともしていません  
 でした。今回、授業で原爆の話を書く事となり、内心怖が  
 りました。そして、私の想像を絶する様な、自分で考えていたより  
 もっとすごい被害だった事が分かりました。そして、資料館  
 にあった人形と同じような風景を思い描いていたので、これ田ん  
 も、思い出して、つらくて(まぶ)か...?と息を吐いたのですが、  
 「キレイすぎる」...え?これがキレイすぎる...と、か、これでも  
 十分に痛々しいのに...と思いました。今、私が想像している  
 世界の何百倍も、何千倍もひどい(まぶ)が、原爆が投下された  
 時あったのだと思います。戦争のない、平和な生活しか  
 遇したことの無い私はど人々に元々、長ても想像する事ので  
 きる世界だと思えます。話を聞いて伝わる原爆の  
 怖さ、今日聞いて話を絶体には忘れるはしけたいと思いましたが、  
 そして、授業だからという理由ですが、初めてちゃんと原爆と  
 向き合うことができ、広島に行く前知れておかげです。

私と原爆を向き合おさせてくれた方ありがとうございます。



# 原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

5 / 21

まずは、感謝を述べさせて下さい。原爆の事を話すのは、精神的にとっても辛い事だと感じます。そんな苦しい思いをしながらも話して下さい。ありがとうございました。今回の授業で、広島と長崎へ原爆が落とされるまでの経緯や、なぜこれらの都市が選ばれたのかは分かりました。しかし、なぜ、原爆というものを、人を大量に殺すためだけに使われた兵器を、アメリカが日本に落とされたかが、私には最後まで分かりませんでした。歴史の授業で、アメリカが原爆を落とした理由は、「戦争を早期終結のため」「ソ連よりも優位に進ぶため」「原爆の威力を確かめるため」と教わりました。この事をノートに写してある時は、へえ、そうだったんだ、くらいに思っていたのですが、今日、それは「なぜこんな非道な兵器を落とさうという結論に至ったのか」という疑問に変まりました。原爆を乗せたB29を出発させるまで、アメリカでは原爆投下に関する沢山の議論が行われたことでしょう。しかし、その中で「さすがに原爆はやめておいた方が良いでしょう」という声は出なかったのでしょうか。私はそれが一番悲しいことだと思いました。原爆は、一度落としてしまえば、一瞬にして多くの人の生きた証も灰にし、放射線によって多くの人の命を何十年にも渡って蝕み続ける事が分かりました。今回の授業で思った、思わぬ目を背けたくなるような惨状には、もう二度と繰り返さない事なんだと感じたと共に、今の生活の幸せさを改めて実感しました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

原爆は怖いものかという事は知っていましたが、今回具体的な例と共にお話を聞いて改めて怖いと感じました。

原爆投下の条件が揃っていた、天候が悪くなかったということが偶然重なってしまっただけにあんな悲惨な状態になったかと思うととても悲しい気持ちでいっぱいになりました。

またいつ落とされるか分からない状況の中、軍の命令に従い作業をすることを17才でやっていたかと思うと自分ももっとしっかりしなければと思いました。普段と同じ生活をしていたら急に5人に2人が亡くなってしまふ状態になってしまう、という今では考えられないような事が1945年に起こった、ということをお忘れではいけないと思いました。

私は人が座っている陰がそのまま残っている階段の写真がとても衝撃的で心に残っています。修学旅行では今回のお話を思い出しているいろいろな物や建物、お話を聞こうと思います。

本日はありがとうございました。



# 原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

元々、私は原爆自体、広島と長崎に落とされたことやいつ落とされたのか、ぐらいしか知りませんでした。今回の特別授業で、原爆が落とされる条件やその条件に合った候補の都市など知ることができました。その中でも京都が一番原爆を落としやすい都市と聞いた時は驚きました。京都に落とさなかった理由が人間にとって大事な文化があるからということを知った時、アメリカ側にも考えはあったんだなと思いました。そして広島と長崎に落とされた原爆は別物ということにも驚きました。でもよく考えてみると、原爆の実験なのに同じ原爆でやっても結果は変わらないということに気がつくことができたので納得しました。その原爆の構造（温度や衝撃波の速さ、死亡率など）にも驚かされました。太陽よりも熱く、音速よりも速く、1人に2人が亡くなったという原爆には恐ろしさもありつつ、被爆者の方のことを考えると胸が痛くなりました。最後に拝見させて頂いた池田さんの動画も話を聞いた上で観たら、胸が痛くなりました。原爆について、詳しく教えてくださいありがとうございました。



## 原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

私は小学生の時に1度原爆先生の特別授業を受講して  
いました。小学生の時の内容に加え、今回の内容を聞いて  
また違った感想が出てきて更に原爆についての理解が  
深まりました。

私が一番印象に残った場面は池田義三さんが展示品を  
見て「綺麗すぎる」と言ったところです。また実際に私は  
展示品を見ていた為、その言葉を心に留めて展示品を  
見ようと思います。小学生の時は原爆やその仕組みを説明  
してくれてもあまり想像できませんでした。今あらためて話を聞く  
と数値化された情報から原爆の大きさとその熱さをより感じ  
中学生でも一回話を聞いたことがとても大切な経験になりました。  
長崎に何故原爆が落とされたのかという疑問も解決できました。

コロナで行けるかどうか分かりませんがもし9月に修学旅行に  
行けた際には今日の特別授業をし、かり思い出  
学習しようと思います。

小学校と中学校での計2回授業をして下さり  
ありがとうございました。



## 原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

私は今回、原爆先生の授業を受講して男子は21歳で全員入隊させられるのに池田さんは17歳で陸軍に入隊したと聞いて当時はよほどの人手不足だったのだと感じました。また、原爆を落とす際に天候が悪かったから長崎に落としたというのは聞いたことがあったけれど、伊予もどのようにして広島や長崎などという所まで原爆を落とす場所を絞り込んだのかは今回知ったのでとても良い勉強になりました。原爆を落とす候補にまでなっていた都市がしつかりと決められていて落とした側もどこにでも良いから落とそうと思っていたわけではないと知り驚きました。広島に投下された「リトルボーン」や長崎に投下された「ファットマン」は3m以上もあり重さもすごく重いのだと知って自分は知らないことがまだまだあったのだと痛感させられました。私は原爆ドームの前の姿(広島県産業奨励館)の写真をはじめてみたので、原爆のおそろしさを改めて知りました。また、多くの方が被爆したというのは何度も聞いてきたけれど、実際にデータ(数値)として見てみるとどれだけの人が被爆してどれだけの人が死んでしまったのかもよくわかり、勉強になりました。広島に住んでいた人の5人に2人が灰人ではあったと考えるととても恐いと思いました。今、私達の住んでいる場所に原爆が落とされたとしたらどうなるかなんて私には想像もつきません。だからこそ、この出来事の重大さを未来の人達へ伝えることも私達の役目だと思うので実行したいです。今回の授業はとても勉強になりました。ありがとうございました。





名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

私は今まで原爆というものをよく知りませんでした。しかし、本日の特別授業を受講し原爆による被害とその体験談にとても驚き、わかには信じ難いような思いがしました。爆心地の上空に直径200mの太陽よりも熱い球体ができ、それにより下にいた人達はおとがたもなく消えてしまう。そうでなくても炭が骨になってしまうという残酷にいたまれなくなりました。それから、池田義三さんの体験談にもとても驚きました。まず、17歳で軍人になたという事で。私はまだ14歳ですが、3年後に軍人になれと言われても、絶対なれません。また、広島市に原爆が落ちた後の光景について聞いた時も、信じられないような思いがしました。防火用水の桶の中全てに煮えた死体が入っていたという事にも衝撃を受け、当時それを17歳で見ました。池田さんはどんな気持ちだったのだろうと考えさせられました。本日は特別授業に来て下さりありがとうございました。



## 原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

特別授業を受講して私は原爆の恐ろしさなどについて知れました。今まで、何人の方がどのような原因で亡くなったかは知っていたけれど、くわしい原因や原爆の威力がどれくらいだったのかという事は知らなかったので勉強になりました。またアメリカ側の作戦内容もすごいなと思いました。爆弾投下の条作やどこに投とすかなど細かいところまで決められて、そこに10kmも上空から投とせるのもすごいなと思いました。これまではあまり誰かの目線での話は聞いた事なかったので、今までより、原爆の酷さが知れました。しかも、その時の温度が700℃と聞いておどろきました。今回私は授業を聞いてアメリカ側がどこに落とすかの候補地のところが気になったので自分でも調べてみようかなと思いました。修学旅行でもっと詳しく知れたらいいなと思います。ありがとうございました。







# 原爆先生の特別授業を受講して

じゅうこう

表

名前は裏面に記入してください

今日、原爆先生の授業を聞いて、思、た、こ、し、は、  
広島に原子爆弾をアメリカ軍のネブトせんが戦闘  
機を使って落としい、死亡した人は14万人、広島市の  
人口が35万人だ、た、の、で、死、亡、率、が、約、40%の人口が  
アメリカ軍によって亡くなったのでとても悲しみました。  
原爆により、熱線が降り注ぎ、衝撃波によって、  
振動が何回も続き、2011年の東日本大震災の  
富島原子力発電所から空気が汚染された  
放射線による、今もなお、原爆症に苦しんでいる  
人がたくさんいるので、私はとても心が痛みました。  
原子爆弾が投下される約2秒前、原子爆弾の  
火薬が何十倍も膨れ上がり、直径が200m、  
原子爆弾の中央付近の温度が100万℃、しかも、  
地上から600mしか離れていなかったため、私は驚き、  
そして、地上からの温度も3000℃だったので広島の人々は  
これに耐えながら一所懸命に走って、けがに苦しみながら  
命を落とすとしていくのを聞いて私は広島の人たちは戦争を  
経験していき、私にとって、勇者だなと思いました。

広島県産業奨励館が原爆ドームと形似し、屋根が假設塊中の空同化に  
なっていたことに私はおどろきました。  
特定非営利活動法人原爆先生 <http://hiroshima9.com> [post@hiroshima9.com](mailto:post@hiroshima9.com)



じゅこう  
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

私は今回この特別授業を受講して、今までの原爆についての印象や知識が大きく変化して、衝撃を受けました。まず主人公である池田城が、17歳の時点で徴兵されたことに驚きました。本来なら21歳に徴兵のはずなのに若くして戦場に出される境遇にあって、身にほとても考えられないと思いはした。また、原爆の候補が広島、長崎以外にもたくさんあり、投下には、その地形が大きく関係していると初めて知りました。私はなぜ広島と長崎に原爆が投下されたのか知らなかったので、びっくりしました。エッセイ、ゲイなどの言葉も聞いたことはありましたがそれが人の名であったり、原爆の号前や大まか、そしてその原爆の落方などたくさんを学びました。それと同時に原爆の恐ろしさや脅威も知りました。原爆が爆発すると表面温度が7000℃近くにもなり、太陽よりも熱いレベルでそれが人間の真上に発生すると知り、私には想像が付きませんでした。何年となんて考えたこともなかったのだから、あまりにも悲惨すぎると思いはした。また、爆心地の人たちは、一瞬にして影になてしまうと知り、これが実際にあったとは思えないほどの威力だと思いはした。人間の上に落とすような物ではないと思いはした。その原爆によって大量の人が死に、40%の割合で亡くなり、被爆者は24万人もいて、原爆症にかかり、今もなおその原爆症によって体に影響が出ている人がいると思うと本当に辛くなりました。アメリカ側も原爆の交効果などが知りたいために、こんな残酷な行為をして、日本人のことなど気にもないなんてひどすぎると思いはした。このように原爆が使われてしまったのを全ては人間が始めた戦争のせいなので、戦争というものの自体を無くしてはいけなかつとよく考えさせられました。人々が自分の主張をぶつけ合い、和解できないがために、原爆のような凶器を使うことになり、多くの犠牲者が出る結果となつては、戦後二度とこのような事が起きないために、原爆投下の事は決して忘れてはいけなかつと思いはした。もう16年たつたけれど、体験した人が減っている中で、このように考えるのはとても大事だと思いはした。自分も今回受講して知識だけでなく、原爆投下について深く考えさせるきっかけとなりました。本当にありがたうございました。





原爆先生の特別授業を<sup>じゅこう</sup>受講して

表

名前は裏面に記入してください

5/21

今日この話を聞いて、先生のトークテクニックの話への引き込み方、拍子にまず驚きました。話の内容の中で、アメリカの飛行機のラジオゾンデを投下した後、すぐにその場から逃げるというものの話を聞いたとき、私はそのまま爆風や放射線にまき込まれてしまえば良いのにと強く思い、怒りをおぼえました。原子爆弾を投下する地域として、京都が強くおされた理由が山に囲まれているため、衝撃波が山とぶつかって反射することでかなりの破壊ができると聞いたとき、恐ろしくてしかたありませんでした。また、衝撃波だけでそれほどまでの破壊ができる原子爆弾もまたとても恐しく感じました。被爆者の話を聞いたとき、想像しようにも上手く想像できません。資料館に行けば、よくその状態が分かるのでは、そう思っていました。が、実体験者からすれば、資料館の人形などではきれすぎる、そんな生やさしいものではないのだと強く思いました。

特定非営利活動法人原爆先生 <http://hiroshima9.com> [post@hiroshima9.com](mailto:post@hiroshima9.com)

どのような表現をつかっても表すことのできないものは、実体験者でなければ分からない、つぐさだと思いました。



# 原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

5/21

原爆先生の話聞いて、原爆が投下され爆発した時の音や、原爆によって皮膚が垂れ下がり、肉や脂肪が丸見えになってしまっている人も3000℃の熱を浴びて体内にある水分が全部蒸発して炭になってしまっている人がたくさんいたという所がすごいリアルに話して、びっくりしました。また、負傷してしまっている人を想像するだけでもゾッとするので、話を聞近で見た兵隊の人たちがとんだけ苦しかったのがわかりました。原子爆弾投下都市の最良な候補地未のが広島ではなく、京都であったことにも驚きを感じました。

飛行機の先頭に千バット大佐の母親、の先前である「エリザベス」とつけていたことに何を思ってしまったのか不思議に思いました。原爆資料館では知ることのできない事を詳しく教えていただきありがとうございました。



名前は裏面に記入してください

## 原爆先生の特別授業を受講して

表

私は今までに夏には1冊ほど原爆に関する本を読んではいましたが、実際にその場にいる人から聞いたビデオや色々な写真があることにより、全く感じとり方が違いました。

自分で読むだけでは想像することしかできなかつたけれど、体験した人の話を聞き、写真を見ると改めて原爆の恐ろしさを知り、もう絶対に同じようなことをくり返してはいけないな、と感じました。

また、先生が原爆投下の際に声が再現されたり、体でも再現されていてとても想像しやすいです。

原爆資料館で資料を見て「綺麗すぎる。」と言ったと聞き、

「これだけ現実が酷いものだったのかと思い、とてもゾッ」と感じた。死体捜し、手当て、死体を燃やす、などまことにとても大変だと思つた。逃げがに戦っていたという姿にとても尊敬しました。

そして同時に私は何故戦争が起きてしまうのか、と考えました。

この疑問はまた私には難しいですが、少しでも知ろうと思つていました。

今回、戦争についての話を聞いて改めて改めてまた戦争としてはいけないと感じ、今一緒にいてくれる友達や家族がいるということをおぼろげに思ふことができました。ありがとうございます。これから生活していきたいなと思つていました。



# 原爆先生の特別授業を<sup>じゅこう</sup>受講して

表

名前は裏面に記入してください

聞いてる側の私にもゾッとする気持ちやその場の空気がとても伝わってきました。自分がこの平和な時代を生まねと生まれたことに感謝しをけ水はいけな"と思いましたが。原爆は"って知らなから、たことと知らたし、と知りたいたし"興味"がわきました。語り手の声かどんどん響く。ときてる中で話しか聞けることも良かった。たごき、義三さんのご子やを最後に"お"思い出すたけでもつらいのにそれを言葉にし、たかかた伝える"という事は、私には出来な"く"難しく、幸"ことだ"と思"ました。"し"し"の表現が重く、心臓が握りつぶさ"れ"て"い"る"ように胸の奥かしのつけさかきました。脂段にのこ"る"た器"し"たか人がいた印"と"聞"いた時"は"さ"く"ゾ"ッとしました。肘り"ふ"ら"の"被爆者"の身をと、大膽の表現かとても"り"て"い"た"こと、"さ"か"あ"ま"に"悲"愴"が"伝"わ"る"て"ま"ま"し"た。少し原爆資料館へ行くのがこわく"な"り"ま"し"た。た"り"ど"現"実"は"も"と"資"料"館"で"い"つ"て"か"、"た"と"い"う"こと"は"本"日"の"話"と"ま"り"て"さ"か"あ"ま"り"ま"し"た。



# 原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

私は今まで原爆に関する本を読んだり、平和学習の時間に調べたりしていたので「原爆投下場所付近にいた人が」どんな姿になってしまったのか、建て物ほどぐらゐ消えてしまったのか分かっていました。しかし、それは分かってはいるつもりであって本当の現実については何も知らなから下のだと今日気付きました。助けようと手を引けば肉がすり落ち、触れることすらできない状況の中で冷静に判断など私には出来ないと、思います。私が特に驚いたのは原爆の温度が太陽を超えていたという事です。何千万kmも離れていてもあんなに暑い太陽は、それを上回る温度の球体が600mにあつたらどの程熱い想像もできません。また、アメリカも原爆を落とすにあたって模擬練習や会議など様々な準備をしていると分かりました。そんな危ない物を作るのに時間をかけている暇があるならもっと人類に役立つ素晴らしい物を作ればいいと思いました。被爆者が少しでも痛みを和らげるために入った川が沸騰したことや、助けてもらおうと手を伸ばしたら皮が剥けたなど、どこにも逃げ道がない状況は考えるだけで震えるし、まさに地獄そのものだと思いました。この残酷な歴史を人類が忘れないように私達一人一人がその話について深く考え、恐怖を感じ、次の世帯へ語り継いでいこうと改めて思いました。



じゅこう  
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

私は原爆についての本やテレビ番組を見た時に、  
 何もしないでいる人がたくさんいるのを見て、何か  
 が違うかなと思うことが多かったです。何かを  
 今日の特別授業を受けて今日知った人も  
 死体の処理をしたり怪我の手当てをしたり  
 したり大忙しの中にも生きてきたことに助けを  
 求めたことと知り私からたら毎日、皮膚が  
 剥がれていたり大変なことでも精神的にも  
 辛くなりその仕事から逃げ出してしまったり  
 思うので本当に大変な仕事だと思いました。  
 なので原爆によって自分も怪我をしていたり人を  
 助けていた大変な仕事だったと思います。  
 でもやはり、戦争の90%が原爆により亡く  
 なってしまったということは絶対に忘れて  
 はいけないことだと思いました。なので  
 話を聞いた私たちが語り継がなくては  
 いけないこと、とも思いました。





名前は裏面に記入してください

原爆先生の特<sup>じゅこう</sup>別授業を受講して

表

5/21

原爆先生の話聞いて、とても想像しやすくってこんなに恐いことあったんだと思いました。爆発して地上では3000℃というわけのわからない熱さで人間は一瞬にして、まっ黒こげになってしまっただろう。激しい爆発音がし、光も美しいとは言えない不思議な光だったそうです。そのことにびっくりしました。リトルボーイとは何かを知りたくて調べてみました。第二次世界大戦末期にアメリカ合衆国で開発された2種類の原子爆弾の一つ広島に投下されたのがリトルボーイ(天然ウラン)だそうです。ちなみに長崎に投下されたファットマン(プルトニウム)だそうです。戦争は絶対にしてはいけないと思いました。



# 原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

5/21

私には原爆の恐ろしさ、において、人々のうめき声など全てのことを理解することはできませんが、とても胸が張り裂けそうなことが起きたということは理解できました。日本として必ず知らなければいけないことの内の一つですが、改めて知ることができました。個人的には防火用水の桶に死体が入っていたということが衝撃でした。そのようなコンクリートでできた桶があったということも、中にいた人がせくなっていたという事実がやはり原爆の恐ろしさなんだと思いました。音や光、炎、熱さなど想像しただけでも締めつけられるような思いで一杯でした。なぜ広島や長崎に原爆を投下したのか自分が知らなくてはいけない事を知ることができ、とても勉強になりました。また、人が灰のようになってしまうという事実に驚きました。動物が一瞬で灰になるということが私には想像することができません。それなのに助かることのできた池田義三さんは本当に奇跡の人なんだなと感じました。原爆が広島と長崎に投下されたという生々しい事実から逃げないことが私の役割なのではないかと考えさせられました。原爆の生々しい事実を真剣に教えてくださり、ありがとうございました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特<sup>じゅこう</sup>別授業を受講して

表

5/21

私は以前、原爆先生の授業を受講したのは、小学6年生の時でした。中学に入り、戦争について触れる機会が増え、様々な戦争体験の話や歴史を聞きました。今回の授業は以前よりも理解が深まり、さらに恐ろしさが増しました。先生の話し方は話の想像がつきやすいです。想像を遙かに越える惨状だ、たんだなと思いました。原爆はなんの関係のない人を巻き込み、沢山の命を奪うものであり、投下してはいけないのですが、投下しなければ本土決戦となり、日本だけでなくアメリカにも大きな被害が及んでしまいます。戦争は誰かが必ず犠牲にしなければならないものであり、どちらが正解というのは無いものだと強く感じました。涙ぐんで言葉につまった義三さんの姿が映されたビデオメッセージを見た時、胸が痛なり、被爆者達の姿は想像よりも悲惨な状態で言葉で表すことも不可能だということがとてもよく分かりました。今年の修学旅行は広島です。コロナで行けるのか分かりませんが広島は僕も行ったことがないので楽しみにしている反面、少し緊張しています。実際爆心地に行くのも滅多にないので、1つ1つの貴重な体験を大事にしたいなと思います。今回もとても勉強になりました。ありがとうございました。



名前は裏面に記入してください

じゅこう  
原爆先生の特別授業を受講して

表

私は今回、原爆先生のお話を聞いただけで、とても恐怖を感じてしまいました。

私自身、今回一番心に残ったお話が2つありました。1つ目は、原爆

を落とす場所の決め方です。広島は広いから、平野で空襲も良かったから、

長崎は狭いけども、原爆の威力を少し弱らせる、京都はまわりが山で

囲まれているから衝撃波と熱線の相乗効果に期待ができる、という場所の選

び方がひどいと思いました。人の命のことなど何も考えていない。人を実験用の

道具だと思ってるように私は感じました。このころのアリカ人は日本人を何だ

かと思っていたのかとても不思議になりました。

2つ目は最後の5分間のビデオです。私は以前原爆ドーム、資料館に行ったことが

ありました。そこで私はたくさん写真を見ました。しかし、どれも本当に日本で起ったの

かと疑問を持ってしまうくらい悲惨なものばかりでした。今でもその写真が頭の中にたく

さん残っています。しかしながら5分間のビデオでは、あの写真よりも、もっと

悲惨であった。あんなにあつものではなかった、もっともっとひどかった、と語

りました。それを聞いた私は、まだ本当にあつのかと、日本で起ったのかと疑問

に思っていました。なぜなら私はこの平和な世の中でしか暮らしたことのないからです。

でも、今回、先生が特別授業をしてくださったおかげで、やっと日本で本当に起

ったのだと思いました。そして、原爆を飛行機から落としたりしたのはこんなことを考

えながら落としていたのかとても気になりました。車にはどんなことを思っていたのか

とても勉強になりました。ありがとうございました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

私は今日の特別授業を受講して、改めて広島・長崎原爆を決して忘れてはいけなかったと思いました。自分は今まで学校の課題読書以外で被爆体験談を聞いたりはしていませんでした。義三さんは兵隊としてまだ若い年でこの体験をされてとても苦しかったと思うし、生き残れたことが本当に奇跡だと思いました。小説などでも書かれている皮膚の表現、原爆投下の時の表現は文章を読んだり、音読して表現することでより怖く、どれほどの迫力があったのか分かったです。自分はその内容を想像し、少し気分が悪くなったけれど実際はもっと酷いものだと思うとより原爆が恐ろしいと実感しました。自分の身内に被爆者はいませんが戦争体験者がいたので義三さんが撮ってくれたビデオの内容は視聴した私達でも辛いのに、思い出して涙を流しながらも語ってくれたことには一番印象深く残り、本当に辛いものであったと実感し被爆後何年も後遺症を患われるのは辛い、とても苦しい厳しい生活になったというのは自分でも理解できました。

今回の100分という広島原爆を語るには短かくとも濃い貴重な経験になりました。



# 原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

470の爆弾を、B29爆撃機のエ17・ゲイが運んで  
いた事に気づきか隠せ月かた。そして、100万℃もある  
ものが、当事、落とされた事、周りは7000℃で、地に  
着いた時は、3000℃もある事に初めて知り、おどろきで  
あった。そして、B29爆撃機のエ17・ゲイの名前の由来  
が、乗組員のチバット大佐のお母さんの名前だったので  
少し、おどろいた。

また、原爆が落とされた前日、ラツオガンテというものを  
パラシュートで落とすという事に初めて知り、おどろいた。

ファットマンは、小倉市、長崎市のどちらかに落とされる物  
だったが、小倉市に3回も落とすという事だ

びっくりした。そして、ファットマンを落とす前に、

ハイフキン爆弾というものをすずに、日本に30都市

爆弾を50発落とす事に初めて知れた。

これからは、自分が目をそむけにくくても、ちゃんと  
自分の目で確認して、知ることだと思います。



名前は裏面に記入してください

じゅこう  
原爆先生の特別授業を受講して

表

5 / 21

今回お話しを聞いて原子爆弾の恐ろしさや今、この日本が平和であることの幸せや誇らしさに改めて感じ、気がくっきりしてきました。原子爆弾投下の影響で大げんか、怪我を覆いほがらも痛みや苦し、辛さを我慢し今、自分にできることは何かと考え最後まで一生懸命生き抜こうとする被爆者の切迫い姿が目に見えてきました。原子爆弾投下で失ってしまったものを全て私たちが受け継ぎ、七つ返していった人の分も全力で頑張りたいと思うことができました。原子爆弾の熱さと衝撃波、放射線という強い光を浴びた影響で皮膚がほがれ肉がむき出しになっているのに自分の足で歩き、助けを求め体の痛さに涙も出さずという衝撃的事実を聞き、とても心が痛くなりました。このような出来事は二度と起きないことを改めて感じました。そのため今回お話しして下さったことを後世に伝えていくことが「大事だ」と思います。今私たちが争いも戦争もない平和な世の中で学校に行き、家に帰り、穏やかに暮らしている、生活できていることに誇りを持ちました。これから先もこのようなお話しを聞き、学び、戦争の恐ろしさ、そして原子爆弾の恐ろしさをどんどん知っていきたいです。本日はありがとうございました。



名前は裏面に記入してください

## 原爆先生の特別授業を受講して<sup>じゅこう</sup>

表

私はこの特別授業を受講して、一番はじめに思ったことは、色々なことのめくり合わせで広島と長崎に原爆が落とれるかたちになってしまったというとても疲い事実があったのだなと思いました。

原爆が落とれる第一候補は京都だったという事を初めて知りました。父の単身赴任先が京都で何度も言われたことがあり馬馴染の深い場所が目標地となっていたのでとても驚きました。

私の祖母も幼少其月に戦争を体験していた身なのですが今年、亡くなってしまったのでどんどん私たちの知らない戦争の事実が言われる人が少なくなっていることを感じ今回こういうかたちで新たなことを知る機会があってとても良かったと思います。さらに一つ疑問に思ったことなぜチベット大佐は人を殺すための原爆の名前を母親の名前にしたのか疑問でした。このようにまだ知らない事実がたくさんあるので、もっと勉強したいと思いました。そしてこれからはその知職を語り継いでいくことが大切なのかなと改めて感じる事が出来ました。本当に貴重な体験が出来たことをうれしく思うと同時に二度とこのようなことはしてはいけないと強く思いました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特<sup>じゅこう</sup>別授業を受講して

表

本日、ご公演いただきありがとうございました。広島原爆の話は、  
中1の時から学び始めて、このような先生のお話を聞く経験ができた  
ことは、ありませんでした。先生が表現されていた、原子爆弾の爆発  
音に少し驚きましたが、それだけの威力があったのだと感じました。  
原爆を落とす3つの条件を聞いた時、もしこの現代で落とすなら、  
どこでも落とそうと思いました。先生がスクリーンで見せてくださった、  
写真を見ると、とんだけ悲惨な景色だったのかをそこにいなかった  
私でもわかりました。また原爆が落とされると聞いた池田さん  
はどうかという思いで立ちつきたかばかりませんが、その落とされる時刻  
になっても落ちてこなかったとき、ほっとしたと私は思いました。もし  
池田さんが私だったら、次また落とすらいと報告をもらったときは、  
たぶん立ちつくすだけでなく、恐怖の震えが止まらなかつたと思  
います。落ちてこなかった時は、とてもほっとした思いにほると  
思います。最後に池田さんが原爆について語ってくれていると、オ  
を見たとき泣きながら話されていた、それだけのとても悲惨なことが  
あった話に思いました。池田さんが話してくれたことはたぶん  
一生忘れたいと思います。後世にもこの話を残していきたいです。  
本日は本当に原爆のことについて勉強させていただきました。ありがとうございました。



# 原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

私は今日のお話を聞いて、前から少し原爆のことを調べていたのは、こんなにも非"まだ知らないことがあるんだ"な  
 と思い、も、と色々な方の話を聞いたり、調べたりしてみたい  
 です。

私が今日一番驚いたことは、被爆した方が本当にうで"を  
 前にた"して歩いてきたこと"です。今までは、絵や遠くか  
 ら見えるような写真しか見たことがなかったけど、今日のお話を聞いたり原爆資料館にあった、被爆した人の人形  
 を見てこ中は本当だ、たんだ"なと思いました。

もし私が"池田さんの立場で"、たら、トラックに乗ろうとした  
 被爆者の方々を自分から手伝、てのせ"あげ"ようとおもてた  
 かと、た"と思います。全身にやけどをして皮膚がた"は"てしま、  
 た人を見ていられないし、気分が悪くなり、自分のことしか  
 考えられないかと、ま"し"まう"と思います。しかし、死体の処理を  
 する時も、逃げ"た"ま"す"に、助け"て"あげ"ようとしていられるた  
 ら、と"ま"も強"く"ま"す"いな"な"と思いました。

このような体験をした人がとんとん減"って"いて、話を  
 されることか"い"少"な"くなるのは、と"ま"もさ"ん"ね"ん"た"な"と  
 思います。



# 原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

原爆先生の話聞いて「原爆とはこの世で一番恐ろしいもの。他の何とも表せない。かわりとなるものが何もみあたらない。それ以上の苦しみは口末わったことかない」様な物がたと感じました。私自身、京都出身なので原爆を一番落とした場所だったという軍実に、驚きましたし怒りが湧いてきました。私の大切な場所は一度失ったら完全にはもう戻らない。もし落とさなければと繰り返しのつかない。人の大切なものは奪ってはならないでしょう。前に社会の先生がこんなことをおっしゃっていました。「戦争をやると言い出した奴はまたいた。年寄りなんだ。もう戦争に行く必要のない、自分たちの身に危険がおこることのない年寄りが戦争をやりたい。権力も持てますしね。でも犠牲になるのは若者なんです。この考えは現代にもあると思います。自分さえよければいい。自分のために他人を使う。人間のエゴ」です。もちろん人はたいてい自分が大切だし、完全にはなくせないと思います。でもせめて人の権利を奪うことだけはしない。このことをしてはいけないのではないかと感じます。戦争をやっていた時代は情報も制限されて拒否権もなくて。でも、権利さえあれば絶対戦争を反対する正しい人が出てくると思うんです。「人権を守る事」この事が戦争をふせくことにつながるのではないかと私は考えます。



名前は裏面に記入してください

## 原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

私先生の話を聞いた時に池田義三さんが当時17歳  
であったということは私達の年齢が2〜3歳しか違わない  
のに、心に深く傷を負うような様な体験を  
されていて自分では最後まで成しとけることができないと  
痛感し、同時に強く尊敬しました。被爆された方の  
気持ちもいろいろが、アメリカの爆撃機を操縦していた方ほとても  
複雑で残酷な思いでリトルホーイやファットマンという原爆  
を落としたという人が少なからずいると思いました。なぜなら先生のお  
話しにもあった通り、爆撃機を操縦していた方が生で  
原爆の瞬間を見た時に思わず手の震えが止まらなかった  
とおっしゃいました。自分達が原爆の効果のためだけに  
落としているのに、その自分達までが恐れるくらいの勢い  
だったという、心の奥底で太陽その高熱をものものを  
熱い原爆をたくさんの人々がいる地上に投下するとい  
うのはとても簡単なこととは到底思えなかったからです。  
また、先生のお話を聞いた時に私が一番印象に残ったものは、  
日本とアメリカの知識の差ということでした。アメリカは、原爆一つ  
落とすのにも様々な練習を繰り返して計算しているのに対し、日本人  
の知識というのほとんどないものだ"と私なりに思いました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を<sup>じゅこう</sup>受講して

表

お話が始まる前は特に何も感じていなかったのですが、聞き入っていくうちに、その場のことを想像して、または自分がその痛み・苦しみを味わったらどんなだろうと考えて、とても恐ろしく感じられました。また、なぜ死体が恐ろしく感じられるかと思いました。老衰などで、外見が傷つけられた人は頭でいるように見えますが、被爆者の方は見えないほどの大怪我だったとききました。亡くなられた被爆者の方々の亡くなられた方は、決しておたおたではなかったでしょう。彼らの体を見て、その量が思い浮かぶから、恐ろしく感じられるのだと思います。また、被爆者たちはどのくらい痛かったのかも気になります。体が瞬く間に消えてしまうのは、どのような感じなのでしょう。体験したいとは微塵も思いませんが、この悲惨な姿を語りついでいくことが大切だと思いました。もう絶対にこんなことを起こしてはならないとも思いました。また、これを実験的な感じで二発も落としたアメリカの人の考えがよくわかりません。たしかに戦争は終わりましたが、まだ他のやり方があったのではないかと感じます。



# 原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

5/21

私の家族や親戚は旧軍隊の戦士を体験された方がいません。

なので、普段戦争の話と聞くこともないし、初めて戦争の話と聞きました。

私は、歴史の授業では「戦争」というワードを何度も見たことが、

ありませんが、実際に体験したり、広島、長崎、沖縄などの被爆地に行っただけがありませんでした。

今日、広島に原爆のことで色々学びました。初めて、広島に原子爆弾を落とす理由、原子爆弾がなぜ作られたか、原爆雲の大きさなど

たくさん知ることができて良かったです。なかでも、池田義三さんの日記などに広島の方（被爆された方）の様子や私たちが想像ができていたより実際の様子が書かれていて。確かに、今日聞いたお話と、

戦争のことをまだ理解している。と言っているとは思いません。

これから私たちができることはたくさんあると思います。

私ももっと戦争体験者の方々の話を聞き、日本人として

知ることが多いと嬉しい。「常識」として、興味を持ってほしい。

思っています。「二度と戦争を起さなければ」「二度と同じことが

日本・世界では起さなければ」と言われて、今日感じました。

思いました。今日は、この時期なので、お祭り、ご高齢の方と

お話をたくさん聞きたいと思いますが、今日は、跡見学園・私のほう

に同じに体験者がいない私たちに授業していただき、ありがとうございました。



名前は裏面に記入してください

## 原爆先生の特別授業を受講して

じゅうこう

表

私は小学校の頃、図書館ではたしの本を読んでいて、広島原爆の被爆者が  
手をたんと前に出し、皮膚が爪の先まで垂れ下がっていたシーンを何度も見ては、  
何故前に手を出していたのか長年ずっと疑問に思っていたので今日知ることができて  
よかったです。それと、今日本疑問に思っていたのが、何故一番原爆の被害が  
大きく出る京都とアメリカは投下の候補に推していたのかということ。それは  
広島に原爆が投下される前、広島には国民に避難の警告が書かれたチラシが  
アメリカ軍から撒かれていたという話を聞いたことがあったためです。  
被害を大きく出したいのであればどうなんでも撒く必要はなかったんじゃないかと  
不思議に思いました。今日お話を聞いて、一番衝撃に思ったことは、  
原爆の温度が太陽の表面温度より1000℃も高いということ。私  
は先生に三択の質問をした時、六千度か六百度か六千万度の中で  
六千万度だと答えたので、現実には予想をはるかに忖えていたの  
とでも驚きました。



じゅこう  
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

5/27

原爆について本を読んだり、平和学習で調べたりして自分は原爆について知っている気になっていたけれど、今日のお話を聞いてみると知らなかった事がたくさんありました。自分は知っている気になっていたけれど、そのもと深くにある生々しい悲惨な状況から目をそめてしまったのかもしれないなと思います。映像や写真ではないのに、その場面が浮かんできたり、話の途中に入る間で自分の意見を考えたりする=とかできました。この原爆の事実は本当に悲惨だし、聞いていて怖いなと思ったりしてしまうけれど、ここで事実から目をそめてしまうと平和学習をする前、と何も変わらなくなってしまうと思います。今の世界は原爆を体験された方より、体験していない人が多いいので、今回聞かせていただいたお話を忘れずに私たちがからも伝え続けていくという=とか大切なことななと思いました。最後のビデオでは原爆のことを思い出して泣いてしまうシーンが胸が苦しくなりました。私と2歳しか変わらないころに兵隊に入り、つらい経験をたくさんしてきたことが伝わってきました。今聞いたお話を忘れないようにしようと思います。

今回は貴重なお話をたくさんありがとうございました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

5/21

今日の授業を受講し、戦争の凄まじさをおぼろげに感じました。今まで候補になった都市が、どんな理由で候補になったのかは知らなかった。ちゃんと理由があって広島と長崎が選ばれたことを知ることができました。

また、原爆が投下されたときの話はなんとなくでしか知らなくて、あの時に聞こえた音と、黒い赤い煙がまき散らされた煙が、すごく怖いと感じました。また、手紙が燃え尽きたり、皮膚が剥がれたりと、すごく辛いことがあった。助かると思っても、もたなくて死んでしまったら、胸が痛いと感じました。実際に原爆を体験した人の話を聞いて、本当に今でも考えられないことがたくさんあって、心から怖さを感じた。もう二度とこんなことがあってはいけないと思いました。もう原爆を体験した人たちがなくなっている中、しっかりと彼らから話を聞いて、この先もずっと原爆の話を伝えていかなければいけないと思います。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこウ

表

名前は裏面に記入してください

私は広島に限らず原爆のことについてはかなり詳しく  
 学んでいたので、知っていることの方が多いと先生のお話を  
 聞く前までは思っていました。しかしながらその当時の経馬倉  
 をされた方から聞くものは、今まで勉強してきたものとは  
 比較にならないほどの事でした。印象に残った言葉は、  
 原爆資料館の中にある、2人の像の姿を見て、甘く  
 きるとおっしゃった言葉でした。私はその像を見た時に、  
 「恐ろしい、こんなと本当にあったなんて」と思いました。  
 やはり、どんなに原爆を経馬倉された方から話を聞いて  
 理解したとしてもどの程にも同じような気持ちのつか  
 理解しがたいものはまた「また」たくさんあり、足りないと思  
 われました。今回、お話を聞くことができて、本当に私は  
 良い経馬倉ができて、幸せだと思えます。これからいかに語り  
 継がれる方は少なくなる一方ですが、日本に原爆が落とされ  
 苦しい日々があったことを私たちが今を生きる若者は絶対に  
 風化させてはいけないとあらためて思い感じました。戦争に  
 限らず震災などの出来事も私達が伝えていかなくては  
 ならないと強く責任感というものを感じて、必ず守ります！  
 今回は私たちのために本当にありがとうございました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅうこう

表

5/21

私は、中1の時に家族で原爆ドーム、原爆資料館  
に行った事があるのですが、当時はまだ広島に原爆  
が落ち多くの人々が亡くなってしまったという事実しか  
知らなかったのので、現地を見て回わっていても、本当  
にここに原爆が落ちたのかと現実味が伝わ  
てきませんでした。中2、中3と歴史の授業で学び  
そして今日、学んでや、あの場所で起きた出来  
事なのだと実感しました。あんな恐ろしい事が76年前  
に起きていたと思うと、ゾッとします。私の祖母が幼  
い頃、詳しい日時はわからないんですけど、広島  
の被爆地域に近い所まで家族と行っていたらしいので  
す。今思い出しても、雰囲気など全てがとても  
怖かったと言っていました。幼い時の出来事でさ  
え、今でもはっきりと覚えているくらいの恐怖は今  
の平和になった時代でしか過していない私には、そ  
の当時の祖母が感じた恐怖は、全て理解でき  
ないと思います。ですが、今日の授業のように、たく  
さんの事を学び、考え、感じることを続けていくこと  
が自分にとっても、未来にとっても、重要な事なんだと思  
いました。



原爆先生じゅこうの特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

5/21

私は、今年広島に修学旅行で訪れる予定です。そのため、原爆についてたくさん知りたいと思っています。「原爆ドームに行ったり、原爆資料館に行ったりして生々しいことを学ぶのは少し苦手だな」と思っていました。しかし、今日の授業を受けて戦争の悲惨さが伝わり、たゆむ気がしなくなりました。戦争で全身が大やけどであり、肉がとけてしまうような人々を毎日、毎日死体処理などは、私にはできないと思います。しかしそれが任務と言って成し遂げることがすごいと思えました。

原子爆弾の威力がとても驚きました。原子爆弾の表面温度が7000度に対して、太陽の表面温度が6000度、鉄がとける温度は1520度くらいになると、太陽や鉄より熱く、想像しただけでぞっとします。

なぜ広島と長崎に落した原子爆弾が違ってくるのか？疑問に思いました。弾の形も、重さも大きさもすべて違ってくるのか？同じ原子爆弾を使いながらなのか？

今まで、広島について書いてある本を読んだりしました。ところが、初めてこのような講演会に参加して、今回が一番生々しい話だったように感じました。



じゅこう  
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

今まで、小学校から原爆に関しこの授業を受講して  
 ました。今回の原爆先生の特別授業が、過去と一  
 番リアルで、耳をふさぎたてた子やうな口しいお話を  
 した。今回の試験範囲に、太平洋戦争のことはあ  
 り、そのテスト勉強として自分でいろいろ調べ学習したのであ  
 り、そのどの資料よりも心に残りました。

原子爆弾投下の条件や、候補になった都市が、あつたことを  
 初めて知りました。京都が(昔候補)として推されたのは、  
 外された理由は「戦争が終わつた後、日本人を支配しやうとする  
 日本人の気持ちを考えてから外された」と仰っていただきました。  
 なぜ、横浜や新潟は外されたのでしょうか。これも日本人の気持ち  
 を考えてから原子爆弾を投下したのだらう。東京上空襲や沖  
 縄戦で日本の敗戦は確定したといつても過言ではないのに投  
 下されたのだらう。と涙が疑問が湧いてきたので修学旅行で在島  
 に行つて前に調べてみたいと思ひました。

この口十福の中、これも貴重で絶対に忘れたい思い出の  
 体験をさせてもらい心から感謝の気持ちを出したい  
 です。在島に行つてからもこのお話を思い出しながら資料  
 探しを見たいと思ひます。



## 原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

特別授業を受講して、とてもたくさんの被爆された方々や、原爆が落とされた時の広島<sup>の</sup>街、人々の様子などの貴重なお話を聞くことができてすごく良い経験になったと思います。私が「お話を聞いてとても印象に残ったこと」が1つあります。広島で原爆が落とされた日に被爆された方々の様子についてのお話です。助けを求めてトラックにのぼろうとした人の手をつかんだ時にたたれた皮膚が「はがれた」という話を聞いてその場面を想像したら、とても恐ろしいと思いました。そして、被爆者の方の遺体も運びという任務も焼けてたたれた体を見るだけで私だったら、耐えきれないし、その異様な光景からは目を背けたくなると思うので「兵隊の方々はすごい」と思いました。今日はあまりよく知らなかった原爆、被爆者の方々についてのお話を聞いて色々なことを学ぶことができました。



二 叔 父  
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

つまらないことではない、恐ろしいことだ”と分かりました。もしその  
フラットコンが長崎と小倉かどれかに目標投下地に投下を成功した  
ら、被害はものすごいことになつたでしょう、長崎の被害がちょっと  
でも少なくなつたことによつたなと思ひました。これから社会の生活  
をスリカにして、大きな戦争は避けられなければ、自分から支障と意見  
が違つた時もちゃんと平和に解決して、小さな争いから止めてい  
きたいと思ひました。



名前は裏面に記入してください

## 原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

5/21

今日は原爆の話をしてくださり、ありがとうございます。池田義三の物語を聞いて、本当に被爆現場にいたような感じがしました。助けを必死に求める被爆者たちを思いうかべた時、涙が出そうになりました。助けを求めている人たちを見て、だけど自分には何もできないつらさ、人たちが目の前でどんでん倒れていくこおさがすごく伝わりました。死体を運ぶ時、背中からじわじわしみこぼる液体や臭いがき、とすごく気持ち悪かたと感じました。自分が被爆者だったら、その衝撃波を見て、自分が死んでしまうことを分かっているのに逃げられない絶望さがすごく強か、もと思います。運よく死んでない人も、自分の皮膚がズルズルとはがれ、血を流してゆくり自分の死を待つ人、被爆症になっていつ死んでもおかしくない状況にな、た人たちもすごく絶望にな、ただろうと思いました。戦争の恐ろしさがすごく伝わり、今の生活は本当に幸せだなと思いました。原子爆弾が爆発した時もすごくびっくりして、それより何十倍もの音がな、ただろうと思いました。池田さんもすごく運が良かったと思いました。資料館の女性の人形の写真を見た時もすごく気持ち悪い、かおいらうた"と思、いたのに、池田さんが「きれいなさき」と言、たことは、あの現場では何倍も良かっただろうと感じました。きれい、まらな、い言、た"らうと思、いたが、全然、まらな、いことではな、いと思、うようにな、りました。戦争は決



# 原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

今日は長い時間ご講演して下さい本当にありがとうございました。

広島、長崎に原子爆弾が投下されてきたことは知っていたものの、なぜこの土地だったのか、原子爆弾とはどのような性質があるかまでは知っていませんでした。この講演をとおして、投下される条件や投下までの仕組みを詳しく知ることができました。

17歳で軍隊入りしたときにも驚愕し、17歳にして原爆後の街を見て人助けをしなければならぬことの重大さを感じました。自分におきかえて考えくみるとこの唾棄の判断は出来ないと思いました。

聞けば聞くほど残酷で目を背けてしまうほどの事実もありました。

沢山の被爆者の方が痛み、苦しみに苦しむ、戦争を恨んだことだろうと思います。

原爆が投下された8月6日のことはいつの時代になっても受け継いでいかなければならないと深く気付かされました。このご講演をひまえて今度は私が後世に伝えていこうと思いました。



# 原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

実際に体験した人にしか分からないものがあると感じかされました。原子爆弾の恐ろしさを知らない私たちに考えさせてくれる機会を手えてくれたのは、その悲惨さを忘れないため、消さないためだと思います。

「体験者からすると生やさしいものではない」という言葉が強く心に残りました。

どれほど悲惨で苦痛だ。たのかが改めて考えさせられました。また、資料館に展示されている物はたくさん人の被害の中のほんの一部であると感じました。

この時代に生きているからこそ体験者の言葉一言一言をしっかりと心にとどめ、後世に伝えていくことが大切だと感じました。

一人一人が平和に対して考えを持ち、それぞれができることに取り組みることが必要だと思います。同じ苦しみを味わわせたくない、同じ悲しみを持たせたくないという被爆者の切実な思いを私も忘れずにいます。



## 原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

私は今まで調べるなどをして何度も原爆について学んできました。しかし、どれだけ学習してもネットの情報だけでは原爆の本当の恐ろしさは分かりませんでした。今回の特別授業を受けて色々なことを学ぶことができました。

まず私が一番驚いたことは、資料館にある被爆者の人形と実際に池田さんが見た被爆者の姿が全く違うということです。資料館にある人形でさえとても恐ろしい姿をしているのに実際はその何百倍も恐ろしい姿をしているということにとっても衝撃を受けました。また、原爆の温度にも衝撃を受けました。7000℃という温度はとても想像できない数字だけれど、肉が触れただけで剥れ落ちるということからとても熱い熱を言んだ「原子爆発だ」ということが分かりました。

原子爆弾投下から時間が経つにつれて原爆の語り手は少なくなっています。そんな中で「コナ」という状況で私たちに貴重な体験をさせてくれて本当にありがとうございました。



名前は裏面に記入してください

# 原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

約75年前に起った、原子爆弾投下は、大勢の人が被害を受けた悲しい事件だと改めて思いました。私は、原爆投下にあたり、京都が一番候補にあつたことを初めて知りました。条件として、直径5kmを超える、平野であること。今までに空襲がなかったところや、盆地にあり、山に原爆の影響が跳ね返り、一番効果を見られるということまで計算していたことに驚きました。第1回目広島に落とされた原爆は広島市の中心あたりに落とされ一瞬の間に約2万人もの人が死亡する恐ろしいものでありました。また、それによって被害を受け、生きていた人も全身がやけどの状態、皮膚が剥がれ落ちてしまうこと、想像するだけで、怖く、恐ろしく、鳥肌が止まりませんでした。また、今もまだ原爆症で苦しんでいる人がいると哀れで、悲しい身持ちでいっぱいになりました。

当時のことをお話ししてくれた、池田善三さんは、私たちが見たり聞いたりするよりも、もっと苦しく、つらいことなのだと理解できました。私は、当時の人々には信じられない、その身近の人々ではないので、悲しい、怖い、としか思いだせませんでした。

その当時の人々の体験のことを想像しながら、原爆ドームや原爆資料館に行きたいと思えました。また、二度このようなことがあつたら

特定非営利活動法人原爆先生

<http://hiroshima9.com>

[post@hiroshima9.com](mailto:post@hiroshima9.com)

ならないと  
思いました。



じゅこう  
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

5/21

今回は広島原爆について、とても貴重なお話を聞くことができた。

私は原爆の被害を体験したことはもちろんありません。また、今回お話を聞いてこれからも体験したくないと強く思います。私がお話のなかで一番驚いたのは、原爆の投下目標の地の天候が悪ければ、原爆投下は断念したという事です。当時の広島は大雨で暑く暑いと思われがちですが、それが原爆投下に適した気候であると知ってとても恐ろしいと感じました。しかし、雨天下落とされる中、それでも原爆が下りて戦争により亡くなった人は多く「戦争」という呪いがあることが本当に良くないと思いました。

また、エラ・ゲイという爆弾の名が機長だった人の目の名前であることに驚きました。もし自分の名前の爆弾が多くの人を殺してしまうらと考えると私自身誇りに思えたいし、名乗りたくなりたいという風に思っています。エラ・ゲイや母親の名前を使用した本人はどのような考えでいたか私は身になりました。そして、原爆資料館に展示されていた被爆者を再現した人形は私も、ニュースや写真で見たことがありますが、現在は実際に原爆を体験した人々から、「二人は其のものをほない」という声があったため撤去されたそうです。しかし私は、機をかけたでも、其人形を大分海外の人々や小児科の患者のために展示しつづけてほしいと思いました。これから、広島に修学旅行に行きますが、楽しむだけでなく、しっかり学び、二度二のようにならないように何をしたらいいのか、ということをお考えられるようにしたいと思います。



# 原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

今回、特別授業をしていただき、ありがとうございました。  
今回の授業を受けて、改めて原爆のすごさ、怖さ、恐ろしさ  
がすごさ分かりました。私達はこれまで学校の授業などでは  
「1945年の8月6日に広島、同じく1945年の8月9日に長崎に  
原爆が落とされ、焼け野原になった」という非常にざっくりとした  
ことまでしか習っていたので、今回、実体験を聞くと非常に勉強になり  
ました。「皮膚がズル、とむける」や「焼けるような暑さ」などすごさ  
想像しやすい表現であらわされて、とても分かりやすかったけれど、想像し  
た途端怖くて鳥肌が立ちました。その他の表現でも耳をふさぎたくなる  
ようなものがあったりしたので、これを実際に体験された方は、強いなと  
思いました。過去には戻れないけれど、もし、あの日広島も長崎も  
天候が悪かったら原爆は落とされなかったかそれなのかなと、  
少し思いました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅごう

表

名前は裏面に記入してください

5 / 21

今回、先生の特別授業を受けて今も、戦争によってできた傷はまだたくさんあるのだなと改めて実感しました。

私、私が想像しているよりも恐ろしい景色だったのだなと思いました。たくさんの方が亡くなり、その亡くなった人達の死体を運び、そして燃やすということ。助けられる人を助けられないもどかしさなど、私がもしその立場だとしたら自分の気持ちにあしっけられてしまうかもしれません。

それでも、義三さんたちはあきらめず行動できていた事柄とてもすごいなと感じました。義三さんたちが行動してくれていたおかげで、助けられた命もあつたのだと感じました。

原爆資料館に行った義三さんが言った「きれいすぎる」という言葉、とても心に残りました。私には想像できませんが、地獄のような景色を、私には感覚を覚えていくくらい恐ろしかったのだなと思いました。

このような話を聞く難さやとんとん苦くならないようにしようと思うので、お話を聞いて自分も残していかなければと思います。そして、あの戦争の悲惨な事を二度と起こさずっらい思っをした人たちの事を心に刻み、世界を平和にしていきたいです。



# 原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

今まで原爆については本や教科書などで読んでとは何回かあるけれど、人の話で聞いたことはほとんどなくて、話を聞くのは、自分で読む時と違う感じがしました。それは、文章だけでは伝わりきれない感情が込もっていて、その感情が私にも伝わってきたからなのかなと思いました。9月に修学旅行で広島に行く際、原爆資料館や平和記念公園の原爆ドームなどを見る時に今回の話を思い出しながら見てみようと思いました。池田義三さんの体験を話して下さっている際には、とても細かく、詳しく、丁寧でその場のきんちょう感まで伝わってきて、100分間がすぐに終わってしまいました。最後の池田義三さんのビデオを見て、思い出だけでもつらいことを私たちに伝えて下さっている姿を見て、戦争を体験したというとてもつらいことで、今後戦争をしてはいけないし、平和であるというとても大切なことなんだと思いました。今回は私たちのために原爆のことを話して下さいありがとうございました。



じゅこう  
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

今日の話を聞き、私は、想像していた事とは、大きく違っていた事がたくさんありました。特に驚いたのは、原子爆弾が爆発した時の温度です。太陽の表面温度よりも高い温度が、爆発したという事が、どれだけ苦しいのが私には、想像が付きません。それでも、その熱によって皮膚が溶け、痛い思いをした人があると思うと本当におこった事なのかと思うてしまいます。もし自分があの場所に行ったら、どんな事を思い、どんな行動をとったかは、分かりませんが、それ違う人がみんな人間ではない姿をしていると思うと、物分怖くて、助けられるんじゃないかなと思いました。京都が、候補に入っているのは、知っていたけど、なぜ外されたのか、その理由は、知らなかったもので、理由を知った時は、おどろきました。キノコ雲の写真は、今まで、たくさん見てきたつもりでした。だけど、キノコ雲は、それ以上行けないう所まで行き、頂上が、平になっている事に気づき、そうなんだと思いました。私は、実際に被害にあっていないので、本当の苦しみは、分かりませんが、今まで、話を聞いてとても辛い事が分かりました。それを、私たちが、伝えられたらいいですね。



# 原爆先生の特<sup>じゅこう</sup>別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

本日は私たちに貴重なお話もしてくださったこと、誠にありがとうございました。私も原爆については、授業やプレゼンテーションで調べたことはあります。しかし、実体験者のお話と記録がこんなにも違うことがわかりました。もちろん 恐れ、悲しみなど調べていくうちにそう感じましたが、何よりも今日感じたことは「驚き」でした。17歳の青年が言葉では言い表せないような思いをし、心の痛みに苦しみながらも地獄の日々を生きて抜いたことに驚きました。今では考えられないし、考えたくもないです。先生のお話を聞いて、原爆の恐ろしさも改めて感じました。たった一つの爆弾で何十万人もの肉体、精神を破壊してしまったのであるから、戦争において、どちらが正しいか悪いかという判断は簡単にできることではありません。しかし多くの民間人の命を奪ったということを知れない事実です。

終戦から数十年後、池田義三さんが広島平和記念資料館で展示物をご覧になった際、何を感じていたのか、と私は思いました。人の考えることが100%分かる訳ではないですし、実体験者と私たちの間ではどう捉えるかによって違うはず”です。私が今回話を聞いただけで「胸が痛い」「悲しい」などの一言では言い表せない気持ちになっているのに、池田さんはもっと複雑な気持ちで、現場で生きていたのです。戦争の、原爆の本当の被害も私たちに教えてくれ



## 原爆先生の特<sup>じゅこう</sup>別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

原爆先生のお話を聞いたのは、初めてでは  
ありませんでした。小学校6年生の時、先生のお話  
も聞かせていたたきました。二回目だったのでまが  
年が上がり、たこともあり、前よりも深く聞くことがで  
きました。トラックの周りの被爆者のうまさ、救いた  
くても救えなかつた話や、ドラム缶で助かつた話  
が、とても印象に残っています。

原爆による被害が、どれほど多く、深く残っ  
ているのかが、よくわかりました。また、原爆が、  
他の候補の都市ではなく、広島、長崎の2つ  
の都市に落とされた理由、パラシュートが実  
際には原子爆弾のそばにはついていなかったこ  
とを知ることができました。

私達が広島に修学旅行に行つて、原爆資料  
館を見る時、池田さんのビデオ動画の言葉  
、お手紙の内容を思い出さと思います。他の中高  
のうまさで、原爆のことをよく知らないという人にも、  
今回のように、原爆の恐ろしさ、影響をよく知  
ってもらいたいと思います。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

元々、京都に原子爆弾を投下するなんて知らなかったし、驚きました。しかし、京都には、貴重な文化があるので、日本の感情を考慮し、やめたということが驚きました。京都は盆地で、四方の山に囲まれているので、そこに投下すると、山からはね返ってくるということを知り、恐ろしいなあと思いました。もし、京都に原子爆弾を投下したら、どうなっていたのか。考えたただけでも怖いです。原子爆弾は約4km手前から爆発。だから、ちよとまちがえたただけで別の方向にいらしてしまふのだなあと思いました。なので失敗もあるのだなあと思いました。原子爆弾は太陽の温度とほぼ一緒ということを知り、熱湯をさわただけでもあついののに、その70倍もの温度がふってくると思うと本当に恐ろしいです。もう一生、このようなことが起きないことを願っています。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

日本が原爆を落とされてしまったか、なかつたような気がする  
 ました。日本の政府がポツダム宣言を無視、そして枢軸  
 国以外の国を敵に回した時から、日本はこのような運命  
 をたどる国だったのかなと思いました。

けれど、原子爆弾の威力はすごいものだ、と改めて  
 知りました。本などで見る文字で相手に伝えようと  
 一生懸命に言葉を選んで書いているから、ビデオでは、  
 感情がおさまらず、涙を流す分節があり、謙に  
 言い現せない、匂い、感覚等が伝わって  
 きたんだなと思いました。

原爆を落とす時に候補になった都市に、横浜・新潟が  
 入っていたことがびっくりしました。なぜ、横浜・新潟が  
 1つめだったのかも、と知りたかったです。

原子爆弾が落とされる場所は適当に落とす  
 つてではなく、ここに落としたり、目標地点の所に落とす  
 など、細かい計算をしてから落とすのは、びっくり  
 しました。

広島に原爆が落とされたという情報は一番有名  
 だが、長崎のことは色んな人に知ってもらいたいと思ったりした。



## 原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

前半の義三さんの話を聞いているとき、突然大きな声を出され、とてもびっくりしましたが、実際はこんな風にびっくりすることもできなかったのかもしれないと思うと原爆が今まで以上に恐ろしく感じられました。原爆投下後の被爆者の方々の生々しい描写や義三さんがトラックに引き上げた時、遺体をおんぶした時などの感覚を自分でも体感しているような気持ちになりました。お話を聞いている際に被爆者の方々や元安川の遺体などを想像し、何とも言えない苦しさのような悲しさのような気持ちになりました。また、2回目の原爆投下の時は、また1回目のような物が来るのかとすく緊張して身構えていたのですが、それが来なかったときすく安心して、義三さん達は今よりも、とても大きな緊張や不安、安心を感じていたんだと思いました。後半では原爆によって知らなかったことを沢山知ることができました。原爆投下の候補地として一番多く選ばれていた京都が文化財を破壊しないため、投下後日本を占領しやすくするためなどの理由で除外されたことにおどろきました。原爆を投下したエノラゲイに乗っていた機長が体感した機体が壊れる程の衝撃や表面温度が太陽の表面温度よりも高いことから原爆の恐ろしさを知ることができました。こんなにも簡単に一瞬で多くの人の命やトクが作りあげた物を破壊できてしまう原爆などの兵器やそれを作り出す原因となる戦争はとてつけないことだと思いました。もう一度こんなことが起きることを懸念します。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

私は今まで広島、長崎原爆について詳しくは知りませんでした。しかし今回の授業を聞いて広島市の人口(35万人)の約2人に1人が亡くなっていたことや、衝撃波の速さが毎秒440mで音速(340m/秒)とあまり変わらない事、原子爆弾投下都市の候補に横浜や新潟、京都が入っていた事など色々な事を知りました。

なかでも私がおぼろいだ事は、

アトコンの候補都市が①小倉②長崎で小倉に落とそうとしたがパンアキ爆弾で練習(?)している間に天候が悪くなって断念、長崎に移動し落とそうとしたが小倉と同じく天候が悪く爆撃機(?)の燃量も少なくなったため、断念しようとしたところ丁度雲のすき間から長崎が見え、こうした事です。

もう少しアキアキが良ければ落とせば良かったかもしれないと思うととても辛く悲しくな



# 原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

今回、原爆先生の特別授業を通して、改めて原爆の恐ろしさを  
 知ることができました。広島と長崎に原爆が落とされたことは、  
 知っていました。詳しいことや、原爆は、どのようなものなのか、という  
 ことは、あまり知らなかった。実際にお話を聞いて、とても勉強に  
 なりました。

話を聞いて特に印象に残ったことは、広島と長崎以外にも候補とな  
 った都市があったということです。また、天候によって、投下地が変化する  
 ことにも驚きました。その日の天候で、原爆が落ちてしまえば、みんなの生活が壊され  
 てしまうのは、とても怖いことだと思いました。

原爆爆弾は、太陽の温度が6000℃なのと同じくらい、7000℃の熱  
 にもとて驚きました。私たちが、絶対に耐えられないと思っ  
 ます。

今年、広島に修学旅行に行くので、実際は自分目で確かめたい  
 けれど、今日は、学んだことを役立てたいです。

私は、戦争を体験したことがないので、今日は平和を当たり前のように  
 思うけれど、そう思えない。当たり前を、昨日感謝して、今日  
 聞いたことを忘れないように生きていこうと思いました。



# 原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

～原爆先生の話聞いて～

私は、今回の原爆先生の話聞いて、どのくらい  
の爆弾がどのくらいの距離で落されたの  
かや候補になった都市を知り、知らなかったことをたくさ  
ん知ることができました。話をたくさん聞いた中でも、特  
に2つのことが印象に残りました。1つは、候補になった都市で  
の話です。今回の話で「小倉」という都市が候補になっていたのは、始め  
て「京都」も候補にあったことは衝撃でした。「小倉」に落とすことを聞  
き、原爆を落とすには、距離・時間・速さ、その時点の気候が大切な  
ことを知りました。2つめは、太陽の表面温度の6000℃より1000  
℃も高かったことです。太陽の距離が遠くても暑いのに、その  
温度の1000℃高く、600mの距離ということば、とても暑い  
ことがわかりました。これにより人の臓器が炭などで黒  
くなり体内が「毛布」とものすごく暑く、痛かったん  
だろうなと思いました。特に少女が乳房をはがされる時  
辺かながたのはものすごく偉いなと思い、自分だったら泣いてたと思  
いました。9月の移動教室に行く時に今回の話を聞  
いたことを思い出しながら学びに行きたいなと思  
いました。



# 原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

原爆先生の広島原子爆弾のお話の前に、ヒロシマの9日間の話を聞いて、池田義三が体験したそのものを見て鳥肌が立つと、胸が苦しくなると、3コマまで見たが、原爆投下後の処理をしているときの人の状態の話の時にいちばん苦しかったです。目で見てなくても、その時のつらさが想像できるほどで、とてもおどろきました。

爆弾のしくみについては知られている時では、投下都市の条件が、たとえ、投下都市の候補が6つあったとしてもその中でも投下した後のとどの先を見て選ばれているとにもおどろきました。その原子爆弾は、太陽よりも熱い、恐ろしいものでそれが地上におとされると考えただけでも鳥肌が立ちます。爆弾による放射線の被害は、今もなお続いているととてもおどろかしく思いました。たくさんのお話を聞いての中で一番最後に聞いた、池田さん本人のビデオは、見てほんとに胸が締めつけられて、涙が流れて、原爆資料館にあるような模形ではあらわされないうほどのものを見てからこそその当時の人々を哀しめるものを見ての「きれいごと」という言葉に色々な感情が入っているのだなと思えました。助けようとして手をひくほどと皮がはげ、手足がバラバラになっという「助けて」という人々の体は、皮膚がとれ、手には、溶けた皮膚がたれだかっていたと、想像して、とて怖くなりました。このようにお話を体験された方だからこそ語るに値すると思いましたが、思いついたくない過去かもしれないのにこのような貴重なお話が聞けたととてもおどろかしく、お話を聞けたなと思えました。今日で広島、長崎で投下された、原子爆弾の恐ろしさを知ることができたし、とてもお話を聞けたなと思えました。



じゅこう  
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

昔初めて話を聞いて原爆のおそろしさを肌で感じました。しかし日本も  
 アメリカに攻撃をされていたと考えると複雑な気持ちになりました。  
 私は疑問に思ったことがあります。1つ目はなぜ東京は原爆の犠牲には  
 なかったのか、です。2つ目は、なぜ広島に原爆を投下した時間も長崎に投下  
 した時間も午前中だったのか、です。原爆投下後、広島での出来事を  
 「作業」と言ってしまうほどに大変な事態であったのが想像できます。  
 今の生活では、どのような思いで人々が助けを求めていたのか教えるのは  
 大変だと思いましたが、長崎や広島に原爆が投下されたのは色々な意味で  
 正しいと思われました。広島では8/6、長崎は8/9、その日の天候が悪かた  
 ら原爆が投下されることは、なかったからです。なので聞いていてつらくもあり、  
 怒りも感じました。原爆をあつた女性の人があつてきたときに驚きの  
 あまり目を背わいてしまいました。しかしその後の「きれいな空」という一言に  
 再び驚きました。なのでやはり、その当日の事情が想像できなくなりました。  
 「原爆は太陽があつたら空が澄かしてほう」と聞いていても、とてもい  
 らない痛みを感じていたことがやはり、よく分かりました。  
 しかしながら日本の原爆がー4は世界遺産に登録されているのにアメリカの  
 真珠湾攻撃を受けた場所は登録されていないのかと疑問に思いました。  
 放射線を海に流すこととしていふ今の事態の重大さが分かりました。なので  
 絶文対には、いいないことなのだとやはり、そう感じました。



じゅこう  
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

太陽と同じくらいの温度の爆弾が落ちくることや、  
 その温度でどこにいっても助からないという話しを聞いて  
 体がゾクとしたし、改めて原爆の悲惨さを知りました。  
 正直、「何十年も前のことなんで自分たちには関係ないし」  
 と他人事のように思っていました。ですが、実際の写真  
 を見たり、実際に体験した方の説明で同じく死体の  
 状態まで細かく聞いて「自分と同じ人間がこんな状態にな  
 る。もししたら同じような状況になるかもしれない」と  
 考えると他人事のようにも思えませんでした。被爆者の方  
 が動画で首を思い出し泣いていて胸が痛くなりました。  
 話しを聞いても皮膚が焼ける同じく耳が痛くなるくらいの大  
 きな爆音は分からないと聞いて確かに話しただけじゃせん  
 ぜん伝わらないけどもっと戦争についての学びがほしいま  
 した。原爆についての学びたいので家族や友達に教えて  
 悲惨さをみんなが知れるようにしたいです。本当にありがと  
 うございました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

原爆が「とてもひどい事だ」とは何度も目にしていますが、実際の悲惨さは知りませんでした。原爆がもたらした被害、原爆地点(目標地点)が「そこ」であった理由、濃く、大事な時間をありがたうに感じました。

「人間が人間の形をしていなかった」という言葉が、とても強く残っており、その一言だけで原爆の悲惨さが「ひしひし」と伝わりました。それでも私達が考えているものはあくまで想像であり実物とは違う。そう思うと実物を見ている方は心にとり程の傷を負っているのか、とても考えられません。7000℃という熱も、灰色の世界も、焼きたたかれた人も蛆虫が生きた人間の体にいるというのと、話を聞くだけで恐ろしく、耳をふさぎたいような事は「かり」でした。しかしこの悲惨さを知らないというのは失礼にあたるとも思いました。100分を越える時間ずと考えさせられる事は「かり」でした。その中でも池田義三さんが発した言葉「綺麗になる」という一言が、その一言に実体験者の色々がつまりすぎている、胸が痛くなりました。今の日本の平和にとっても感謝しました。



# 原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

5/21

原爆を落とされたとき、普通の生活をしていたにも  
関わらず、急にもの凄い衝撃波や熱線を浴びたり  
驚く暇もなかったのではないかと思います。

何が起きているのかもわからずもの凄く熱くなったり

周りの建物も倒れ、凄く怖かっただろうし、苦しかった  
事を想像すると鳥肌が立ちました。ま、と私が  
想像する何倍も悲惨なものだったんだろうなと思

いました。私達は、今平和に暮らしているけれど

この時代の人はいっ死んでしまうが分からない環境で  
育ち、それでも一生懸命生きて、今の平和な日本  
を作り上げてくれたことにとても感謝しなければ

いけないと思いました。忘れてしまっていたり、

思い出したくないような事も同じ過ちを繰り返し

自分達と同じ辛く、苦しい思いをして欲しくないから

と話してくれたのはとても勇気のいることだと思う

し、この内容をしっかり未来へ伝えていくこと

が大切だと感じました。何年も経った今も

被爆された方々の心には原爆への恐怖や苦し

みが残り続け、体も、放射線によりボロボロになり、

特定非営利活動法人原爆先生 <http://hiroshima9.com> [post@hiroshima9.com](mailto:post@hiroshima9.com)

原爆は人の心も体も壊していくことがよく



名前は裏面に記入してください

じゅこう  
原爆先生の特別授業を受講して

表

私は一度、広島に行った事があり、その際に資料館も訪ねられました。その時に展示物を見て、驚いた事を覚えています。しかし今日、池田義三さんのビデオを見て、資料館に展示されていた物よりも更に悲惨な事だったという事を知り、私としても驚きました。その広島の様を想像できませんでした。また、私は歴史が好きで、小学生の頃から、「(はだ)しのゲン」を読んだ。広島に行った際に買った原爆に関する小説を読んだ。りして、ある程度原爆について知っているつもりではありましたが、今日初めて知った事も沢山あり、実際に経験された方、またはその家族の人から聞く話は、重みが違うなと感じました。例えば、原爆による熱線は、皮膚が焼けただけ程だという事は知っていましたが、それが何と、熱線の表面は太陽よりも1000℃も熱く、油上にも3000℃もあるという事は初めて知りました。水が沸騰する温度が100℃でその熱湯がべっぴんだったから火傷したという事は、この熱線による火傷と比べると、どれ程軽傷なものなのかと思いました。熱線により、全身に火傷を負った人が川に入ったら、その水が一瞬で蒸発する程だという事だから、経験してみなければ分



# 原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

私は小学校5年生の時に初めて平和学習をしました。担任の先生が  
コピーした画像や文章を読み、グループで話し合いというものでした。

私はその時 原子爆弾の威力を映画のような爆発がたかま  
起こったくらいだと思っていました。しかし、実際は太陽の表面  
温度より高い熱を発生させ、川の水は一瞬で沸騰、蒸発  
して消えるくらいの力を持つと知ってとてもおどろきました。

私と同年代の子が戦争に行くと戦ったり、兵隊の人のちやうきを  
したり、自分にはとてもでかいことだと思いました。

最後に見た義三さんのビデオを見て、あの時助けた女の子が  
手紙を送っていたのは驚きました。そして、被爆した時の体験を  
話してくださった時は泣きそうになってしまいました。

今、語り継げる人が減って若い人の関心が薄れている中、そのような  
体験をできることはとてもありがたいと感じました。

京都には歴史的な建造物があるから落とさないようにしよう  
考えたアメリカは思ったより優しいたのびなと思いました。

今でも戦争をしている所や、テロなどいろいろな問題がある中で  
また同じことをくり返さないために、自分が今できることが  
何かないか考える生活をしたと思います。

貴重なお話をしてくださり、本当にありがとうございました。



# 原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

私は今日の特別授業を受けて、原爆について  
を知ったことがたくさんあります

1つ目は、原子爆弾投下の条件や投下する時の候補  
になった都市です。投下する時の条件がある事を今日  
初めて知ったので良かったです。また、候補になっ  
た都市に他にも横浜、新潟、京都もあつたのは驚きました。  
2つ目は、原子爆弾についてより深く知れました。

広島に落とされた原爆と長崎に落とされた原爆は  
形や仕組みが違うことに驚きました。

3つ目は、原爆が落とされた位置です。スカイツリーと  
同じくらいの高さで、表面温度が太陽より1000℃  
高く、中心温度は100万度で燃やりました。また  
衝撃波の速さが音速より速いのがびっくり  
しました。

最後に今日、原爆について自分の知らなかつたことが  
知れて良かったです。より原爆についてより深く  
知りたいなと思いました。今日、知ったことは親や  
知り合いや子孫に伝えていきたいなと  
思いました。



# 原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

5/21

今日は池田義三さんという1人の方の体験を聞いてみて、池田さんが生存しているのはたくさんの奇跡が重なっていることが分かりました。少しでもトラックが遅れていなければ、ドラム缶が無かったとしたら、私たちは今日の話を聞いていなかったのだと思います。トラックに乗っている時、傷をおった人々が助けを求めてくるので、助けたいのに手を引いたせいで皮膚が落ちてしまった時の心情が、最後のビデオを見て、とてもつらく、苦しくなりました。

今もなお、原爆症や心の傷で悩んでいる人が大勢いると思います。たった1つの原爆が、とても多くの人々を苦しめ、地獄のような体験を味わわせたことが改めて感じられました。

私たちは9月頃に修学旅行で広島に行く予定です。ビデオで池田さんがおっしゃっていた様に、原爆の思い出を文にしたり、言葉にしたりすることは難しく資料館も実際よりやさしく展示されているのではないか、数少ない物から原爆の恐ろしさを目で見て体験していきたいと思います。本日は本当にありがとうございました。



## 原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

私は、広島や長崎の当時の状況、原子爆弾のことについて今まで、歴史の授業や調べ学習などの時間で学んできたが、知らぬが、たことがたくさんこの特別授業で知れたのでよかったです。

私が一番驚いたのは、原子爆弾を落とす候補の都市の中の京都が一番強く推されたことに驚きました。実際に落とされたのは、広島、長崎だけれど、その間に小倉に行っていたことも分かって、怖いなと思いました。広島に原爆が落とされてその様子が映っている写真を撮った飛行機が西国の方に行って、マリアナ諸島に帰ったという話をさせている時に、私の曾祖母が子供の頃に米軍の飛行機が真上に飛んでいたのを見たと言ったのを思い出して、この時の飛行機を見たのかなと思いました。

原子爆弾が落とされて爆破した時の温度が太陽よりも熱い7000℃で想像ができませんに被爆者が経験したのかと思うと、当時のたいへんさが分かりました。

私は、75年前のことが今は、風化しつつあるが、絶対忘れてはいけないけれど、今の時代がとても平和であることに感謝しようと思いました。他にも色々なことを調べてみたいです。



# 原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

今日はこの様な大人教で集まることがあまり良くないとされている時期に感染症対策をして段取りをしてください。先生方、そして授業をして下さった原爆先生のお気持ちを無駄にしないように一生懸命受講させて頂きました。他の人よりも4才若くして陸軍に入った池田義三さんの経験を通して多くのことを学ぶことができました。一番驚いた事は京都が投下都市の候補であり、「文化財が多くあるから」や、「古い都だから日本人の気持ちを考慮して」投下がされなかったことです。つまり逆手に取ると文化が無ければ、歴史が無ければ投下していいと考えられていたと思うと許せないなと思ってしまう。パンフキン爆弾についても訓練で投下を何度もしていたと思うと訓練のために人を傷つけることはやはり許せないなと思います。衝撃波が早すぎてビルの階段に黒い影が残っていることにもまた、胸を痛めました。「許せない」と思っても過去は変えられないし、民族や人種、宗教の違いがある世界では戦争が無くなることは限りなくゼロに近いと考えます。ですが原爆のことを今回のように授業を受けたり、体験者の方のお話を聞いたりすることで学んでいくことで少なくなってくると思っています。そのためにも9月に予定されている修学旅行(平和学習)を原爆先生や先生方のお気持ちに添えられるよう精一杯取り組み、原子爆弾や戦争、平和への考えを深めて少しずつでも学んでいきたいです。そして今回のような貴重な機会を頂けてとても感謝しています。ありがとうございました。



# 原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

主人公の池田義三さんが、体験したこと、原爆の資料館に展示されていることは違、って、もっと生々しいことだったということが、分かりました。

実際体験してる人と、体験をしてない私達とは感じかたが全然違、うんだなと、最後のビデオを見て思いました。

自分が、戦争の時代生きていたとしても、当時、生きていた人々のように、一生懸命痛みに絶えることは出来なかつたと思います。

原子爆弾は二度と使、つはなうないものであると思います。

それによって沢山の人が国民が被害にあい悲しい思、いをしたと思います。

戦争は、軍人と軍人が、戦うものと社会の先から学びました。なので国民を巻き込んではいけないと思います。

私達は、実際体験していないので、本当の所は、実際見た人、被害にあつた人しか命から身をかましかるけれど、

その被害にあつた人の目に写った内容を聞く機会は、今日のように沢山あると思います。その機会を大事にし、戦争がない今の日本は、どれだけ平和で幸せに暮らせてるかを、改めて理解し、考えていきたいと思います。

コロナ禍で、お忙しいにも関わらず、私達に色々なことを教えて下さりありがとうございました。



## 原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

私は原爆先生のお話を聞いて、とても衝撃を受けました。私はあまり、原爆についての事を詳しく知らなかったのでも知れてよかったです。池田さんは17歳で兵士になって、皮膚がはがれ落ちた人が、死体を運ぶ中で燃やしたりして、もし私が同じような立場だったら二かして、つらして、出来ないうちと鬼いました。人のぬくもりを感じとれない死体を運ぶことを想像すると池田さんはどれだけの辛い思いをしたんだろうと思いました。もし広島が倉、長崎の天候が悪くて原子爆弾が落ちていなかったら、と考えると何万人の人々が亡くならずに生きていたのにと思うと悲しいです。そして、私が一番衝撃を受けたのが皮膚がはがれ落ちた人の資料館の写真を見たことです。池田さんの父が見たときに「どれいすぎる」と言った言葉が忘れられません。資料館の写真でも痛ましいのにもっとすごかったと思うと考えられません。月に修学旅行で広島に行くのでその時に資料館などでもっと原爆について知りたいです。改めて、このような事があってはいけないなと思いました。原爆先生の話がもけてよかったです。ありがとうございました。



じゅこう  
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

5/21

今まで原爆の話を読むだけで実際人の声で日記のような感じで話してもらうことは一度もなか、たからその時の悲惨さが身にしみて分かった。そう思った理由は私達が聞いた話を書いた人の顔を知らなくてどのような人で、どうやって原爆に関わって被爆したのか知らずから話を聞いたからだと思う。いつも読む本は確かに登場人物かどのような人なのか書かれてるけどそれは体験談ではないし、本人の顔も分からなくて自分の心の中で読んでいただけだから当時の現状・悲惨さは痛いほど分かって流してしまう。でも今回は前にも書いたように人の声で文の一言一言、一場面一場面で強弱をつけながら話してもらったから先生の話してくれたことがいつもより心に残った。しかも今回は本当に被爆した方の体験・動画を見たから言葉では表せないような気持ちだった。でも、池田さんもおっしゃったように「原爆の体験・惨状・その時の気持ち」は資料館に行っても分からない。私が思う以上に辛かったと思う。理由は先生の話を聞いた中である場面かとても印象に残っていたから。それは池田さんがトラックに乗ってる時被爆した方々を何も手助けの出来ないまま目を覚ますこと救おうとしてもそれが逆に相手を苦しませてしまう。というところだった。私もその場にいたら手をさしのべることすらできないと思うし私もそのようなことがあって分る気がした。裏に行きます...



じゅこう  
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

5/21

一生思い出したくもない原爆の悲劇について教えて下さり勉強になりました。最初は原爆なんて自分には関係ないと思っていたか話聞いていく内にどんどん興味と関心が増え来てもっと調べてみようと思いました。

言葉や文には伝わらない被爆した人達の体、想像が足りない程の爆風、熱風、放射線、自分が助かった時の安堵した気持ち。おぼつか痛々しくきこえ胸に突き刺した先生の話し方、伝え方、表現の仕方が新鮮でかつ分かりやすく、聞いていて中に引き込まれていくような気がしました。長崎の原爆投下は本当に運命的だと思っています。もう少し天候が悪かったら、雲の切れ目かかなかったら。と考えると原爆が落下せおりに済んだ"と思うととても心が痛いです。



# 原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

5/21

この度は、原爆についてのお話を下さり誠にあり  
がとうございました。普段の生活の中で、原爆について考  
える機会はありませんでしたが、今回先生のお話を  
お聞きし、たくさんのお話を聞かされました。原爆を投  
下された時のことを想像しようとしても、現代社会を  
生きる私たちには想像もつきません。被爆された  
方々のお話しもたくさんお聞きしましたが、その現実には痛  
く、目をそむけたくなるようなことばかりでした。  
戦後、三池田義三さんが再び広島へ行き、「広島平和  
記念資料館」でたくさんのお話を聞かされたけれども、唯  
一おっしゃった言葉が「きれいすぎる。だ」ということには  
衝撃を受けました。私たちがその展示物を目にしたのな  
らば、きっと冷静な気持ちではいられないはずで、そ  
んな展示物でさえ、きれいすぎるのであれば、実際に  
被爆した場所、人々はどれほど悲惨なものだったのだ  
ろうか。そのような事を考えていたら改めて今生きてい  
ることに感謝しなければいけないなと思いました。そ  
して、1945年(昭和20年)8月に起きた出来事は二度と  
繰り返してはいけないなと思いました。



# 原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

今回の原爆先生の授業をきいて、やはり戦争は二度としてはいけません。と思いました。

主人公の池田義三さんは17という若さが兵隊にいかれたことが本当にすごいと思いました。

原爆が落ちたことにより、人間かどうかもわからぬ人を背中心して運んだことは非常に辛かったことだと誰よりも凄いなと思えました。

広島、長崎に落とされた原爆「リトルボーイ」。

「ファットマン」はどうやって作られたのか気になります。核兵器を持つこと、作ることもダメだと思います。

二度の爆撃（1945.8.6広島、1945.8.9長崎）によって

多くの被爆者、死者がでたこととても悲しく

思います。広島では人口35万人の中の14万人、死亡率40%という

ほぼ半分の方が亡くなったこと、とても残念に思います。

中3の9月に修学旅行として広島を訪ねた時は、もっと

詳しく知りたくなかったです。経験したことがない今の

私たちには絶対分らない感情を少しでも知れたらいいなと

思います。今まで何度も原爆についての話を聞いてきましたが、

言葉が表せていない、とても辛いものだと実感しました。



# 原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

5/21

戦後に池田義三さんが広島に行った時に、たどたどしく大やけどを負った女性の像を見て、怪しいおまじないと言ったことが衝撃的でした。

アメリカは、気候、地形、気圧、戦後、世界へ与える影響などいろいろな面から原子爆弾も落とすべき場所を分析して実行していたので、びっくりしました。広島に投下された原子爆弾の名前が「リトルボーイ」つまり、小さい子、または17年たったことを知って、小さい子のほろおひめにそれだけだけで広島市の人口35万人のうち約70%である24万人が被爆し、また、40%が死亡してしまうほどの大きな被害があったと知ったので、原子爆弾の威力は本当におそろしいなあと思いました。

原子爆弾が爆発した時の温度が約7000℃で、太陽の表面温度である6000℃をこえていると聞いたとき、とても驚き、また、それが3000℃ほどになると地上に降りてきたときに感じてしまった被爆者の人たちはおそろしいほどに熱く、いたい思いをしたのだらうかと想像してみました。広島県産業奨励館の、たかさんあたまたかさんが7つのこらお消えてしまっていること知り、原子爆弾の威力が想像を絶するほどだとあらためて思い知らされました。そして、最後に、池田義三さんがふるえながら泣きながら当時のことを話してくれていた動画を見て、戦争は決してくり返してはならないとあらためて思い、また、そのことを私たちに伝えてくれた池田義三さんに感謝の気持ちでいっぱいになりました。当にお礼を言いました。



名前は裏面に記入してください

## 原爆先生の特別授業を受講して

表

画面から思わず目を背けてほうくらいお話を聞いて心か  
辛くなりました。お話の中にはとても現実にあつたものとは  
思えないくらい、思いたくないものが多く、思わず足がガク  
ガクと震えてしまいました。今回、原爆先生のお話にはとても  
臨場感がありました。実際のもは、とても悲惨な状態で  
あつたことが容易に想像できたので、もしも私が…  
と考えるだけでも震えが止まらず、吐き気もしました。  
今回お話を聞いた帰り、友達と感想を言い合いました。  
すると、全員がビデオを見た時思わず涙を流しそうに  
なつたと言いました。広島で原爆資料館を見た時には、せ  
うれつという「綺麗すぎる」という言葉に驚きました。  
私は写真を見た時お話と同じで、皮膚がだらりと垂れ下か  
ている模型に恐怖を感じたからです。友達と「原爆資料館  
で(涙を)耐えらぬ自信が無い」と話しました。ですか、  
もし私達がその時原爆を体感していた広島の人の中  
に居たのだとしたら、今こうして感想を言い合い、「目を背け  
てく現実だか、背けてはいけぬ」と話をしてくれている人切  
な友達が死んでしまつたのかもしぬかと考えたくないか  
思わず考えてしまいました。今回のお話のおかげで日常の大切さに気づけました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

私は歴史の授業で原爆を習ったとき何故広島と長崎に落とされたのかと疑問に思い、アメリカから近いところである所に落したのかと自己解決していたが理由が知れてちゃんとした理由がありとても驚いた。また、横浜、新潟、京都に落とすことも考えていたと聞いてとても驚いた。

また、原爆が太陽の温度よりも高く太陽よりも近いと聞いて、衝撃的だった。服と皮膚がとけると習っていたが、想像がつかないから博物館の写真を見て酷いよと思った。けれどその写真にあるものはキレイな方だと聞いて驚いた。

衝撃波の速さもとても速くて、人がいつのまにか10mふとはばされてるという人は風力も凄いなと思う。また、放射線によりまだ悩んでいる方もいると聞き、70年以上経た今でも続いているのは威力がとても強いなと思った。

また、人間にも蛆虫がわくと聞いてそれだけ傷が酷かったんだと思うと予想できました。

今日の話を聞いて原爆のことが今まで以上に分かった。原爆のように人をたくさん死なせたり傷つけたりはしないようにしたい。原爆の事はこれから語り継がたいと思えました。



じゅこう  
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

5/21

私は1度原爆ドームへ行つたことがありません。

行つた時はたしか小学生だったと思います。その時の記憶はあの皮膚がたれ下がつた銅像だけですね。その時はまだ戦争(原爆)について知りませんでした。だから今日、授業で「分からないことはぜひ先生に聞くべし」といふことを学びました。なぜ広島と長崎に原爆を落とされたのかについて考えたことはあつたものの理由は知りませんでした。ほんとに言つて原爆ドームへ行つたことはありますか。そうですね。資料などは忘れてしまつたからですね。落とされた理由は直径5kmを超える。原子であること。空襲が下つたという条件にあてはまつたからというのを初めて知りました。原爆の温度は太陽よりも倍は高いといふことがよくあります。それが人間の皮膚にあつたらんて1000度。被爆率は70%。その人たちは何も悪くはしてないのに。痛みや苦しみにさえ続けた。それでも亡はつてしまつた。昔は先生とも言えはいいとでもいふ世の中だから「せめて強く感じました。戦争(原爆)のことを学ぶのにはとてもいいことだ。自分も生きてしまつたことはいふことが同じ日本人だから。その当時を学ぶことが後世に伝えていく必要がある」と思ひました。

長崎は条件はあてはまつていないが空襲が最初でした

今日はあなたのために訪れてくれたこと



## 原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

私は原爆についての本も読み、授業でも習ったので、大体のことは理解できていると思っていました。しかし、今日、原爆先生の特別授業を受けて感じたことがたくさんあります。

まず、兵隊さん達の動きは初めて知りました。現在の原爆ドームで突然爆撃され、生き残り、被爆者の方々の手当て、焼却などをやるということ。そして、平和資料館にあるものは全く違う、もっと酷く、残酷な光景を見たということ。

最後の池田さんが話の途中で涙を流す所を見て、心が苦しくなりました。

当時、池田さんと同様に活動していた人は何をして、何を見て、どういった気持ちで今を生きているのかを深く考えさせられる機会となりました。

実際に私達は今後広島に修学旅行で行き、平和資料館を訪れる時は、先生のお話を思い返して、そこにありものを見学しようと思います。

今まで以上に原爆のことに興味が湧いて、仰さを改めて知れました。



名前は裏面に記入してください

## 原爆先生の特別授業を受講して

表

私は原爆についての本も読み、授業でも習ったので、大体のことは理解できていると思っていました。しかし、今日、原爆先生の特別授業を受けて感じたことがたくさんあります。

まず、兵隊さん達の動きは初めて知りました。現在の原爆ドームで突然爆撃され、生き残り、被爆者の方々の手当て、焼却などがあるということ。そして、平和資料館にあるものは全く違う、もっと酷く、残酷な光景を見たということ。

最後の池田さんが話の途中に涙を流す所を見て、心が苦しくなりました。

当時、池田さんと同様に活動していた人は何をして、何を見て、どういった気持ちで今を生きているのかを深く考えさせられる機会となりました。

実際に私達は今後広島に修学旅行で行き、平和資料館を訪れる時は、先生のお話を思い返して、そこにありものを見学しようと思います。

今まで以上に原爆のことに興味が増え、怖さを改めて知れました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

私は今日の原爆先生の特別授業を受講してとても  
心に残ったことの一つ目は、お姉さんと第  
一の話です。お姉さんのお母さんがお姉さんのとこへ家  
内して兵隊さんにしっかりと歩いて歩くのは本当にすごいと思  
います。お姉さんも、きっと私が経験したことのないほどの痛み  
にもたえて、今でも元気に暮らし、兵隊さんに手紙を送って、感  
謝の気持ちを伝えられてとてもすてきな人だと思います。

二つ目は、池田義三さんについてです。17歳という若さで軍隊  
に入り、「班長」と呼ばれ、周りから頼られ、責任重なる役を  
担っていたにも関わらず、みんなに指示をすることがあ  
るに大変なのだろうと思います。

三つ目は、5人に2人が死んでいたという話です。私は4人  
家族で、この中から1人でも死すと考えると想像するだけ  
で怖いのに、それが普通の世界はとて恐ろしいと思いま  
す。

今回の授業を受け、思えば事加的すぎてうまく文章にでき  
ないけど、今ある日常をあたりまえと思わず、日々感謝  
して、住みたいです。

今日は お話をありがとうございました。



じゅこう  
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

私は今回、先生の授業を受講して、改めて戦争はいけない、と感じる共になぜ戦争を語り継いでいく必要があるのか、深く考える事が出来ました。ありがとうございました。

私は小学生の時は、昔の事なんだし、戦争にはいけない、と分かってるから、それで良いのではないかと、思っていました。ですが、中学に入って平和学習をしていく内に、戦争の事をちゃんと記憶して、残していかなければならない、と考え方が変わりました。私は正直今でも、戦争に関する本を読んだり、お話を伺ったりするのが怖いです。今の日本は戦争をしていないので、原爆におびえる事はありません。ですが、少し前の日本は戦争をしていて、アメリカから爆弾を落とされ、多くの人達が(世界全体で)亡くなった、その事実を考えるだけで、とても怖いですが、一方で、私は被爆していないし、戦争を体験していません。それ自体はもちろん良い事ですが、だからこそ、平和という事が当たり前になりつつあり、段々、人々の中から「原爆の恐怖」が無くなっていくと思います。私自身、今までこうしてちゃんとお話を伺った事が無かったので、「戦争=無いのが当たり前」という意識で、あまり原爆について考えた事也没有でした。ですが今回、先生のお話を伺って、原爆や戦争の事を、ちゃんと後継者より下の世代に語り継いでいかなければならないと強く感じる事が出来ました。今の日本は、原爆投下から75年以上経ち、当時の事を現代の子達に教えてくださる方は、とんと減ってしまっています。でも原爆の事は決して忘れてはいけないし、それを語り継いでいくのが、唯一の被爆国である日本の日本人としての責任だと感じました。戦争のお話をするのは正直、怖いですが、被爆した方が思い出の方が、もっと辛いはず。思い出したくない記憶の方が、それでも話して下さった被爆者の方を見習い、私も、戦争の事を知らない人達に話せる様になりたいです。世界にはまだ戦争をしている地域もありますが、少しでも早く戦争が無くなる為には、一人一人が戦争について深く考える事が大切だと思います。今回は貴重なお話をしてくださり、どうもありがとうございました。



## 原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

小学校6年生の時に、原爆先生のお話を一度聞いたことがありましたが、2回目でもすごく胸が苦しくて本当に76年前という近い日に原爆を落とされてたくさんの被爆者の方が出た、ということが信じられないです。アメリカが、世界に対してどれだけ自分達の開発した核兵器の威力がどれだけすごかったのかを示したくて原爆を落としたか、本当のことは分からないけど、日本がどれだけひどいことを世界に対してやってきたか分かっているけど、そこまでしなくても良かったのではないかとどうしても思ってしまう。池田義三さんがビデオで泣いている姿を見て遺体を処分する時の恐ろしさや助けてあげられなかったことかどれだけ悔しかったか、私が今想像できるものをはるかに<sup>超</sup>起えているのだらうと思うと、正直、私はそのようなことを死ぬまで体験したくないと思いました。どこに原子爆弾を落とすのか、候補を6つもあげて会議していたことから人間はどの生き物よりも恐ろしいと感じてしまいました。1つの道具で全ての人を殺すことだってできるし、この世から姿も残さず消すことが簡単にできるから、これは絶対に、将来も起してはいけないと思います。池田義三さんもそうでしたが、何十年も経ってもとても深い傷をのこして、後遺症ものこしてしまうのはとてもさびしいことだと思います。被爆者本人から、原爆先生のような方から話を聞けることは私たちの世代で最後かもしないから、また、過去にそのようなことをあったのを知らない人達か



名前は裏面に記入してください

## 原爆先生の特別授業を受講して

表

とても貴重な話を聞けて良かったです。

原爆の熱さが7000℃という事にとっても驚き

ました。太陽の熱さは6000℃なのに比べて

1000℃も高いとなると想像を絶する熱さであ

るのだろうと考えるととても恐怖で苦しくなりました。

そして人間の皮膚は熱さでどろどろになってしまい、

痛くて苦くて、でも誰にも助けしてもらえない、

そういう環境だったと聞いて、とても心が締め

付けられました。

今でも原爆の後遺症で苦しめられている人が

沢山いると聞き本当に原爆は恐ろしい物だと

実感させられました。

池田義三さんは十七歳という若さで入隊したと

聞いてとても驚きました。

広島市の人口の五人に二人は七くた、たと

知り、原爆はとても恐ろしいと思い、このような

ことは二度とくりかえしてほなさないと思

強く思いました。修<sup>学</sup>旅行に広島に行く

のでその時にもっと学びたいと思いました。



## 原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

この度は素晴らしい授業をしていただき、ありがとうございます  
いました。今回の授業では沢山驚きました。跡見では原  
爆についての授業が多いと感じていたのですが、知らない  
ことばかりでした。特に広島に落とされた原爆のリトル  
ボーイが爆発する際の表面の温度は太陽よりも熱  
いということにも驚きました。とても考えられるよう  
な熱さではないかと思いました。また、被爆の際爆  
心直下の屋外にいた人が一瞬で消え、黒い影のシ  
ミだけが残る、ということを知っていたのですが、改めて  
写真を見ると、本当にそこに人がいたと思わせるよう  
なシミでとても恐ろしく感じました。原爆雲があの  
ような形なのは写真でしか見なかったことですが、たので  
すが、上昇気流におそがしなどの残骸が雲にな  
ってできたもので、色が何とも言えない赤、紫、黒のよう  
な色ということを知ってもしこの写真がカラーだと  
らと思うと、とても怖くなりました。また、リトルボーイ  
を落としたエノラ・ゲイはチバット大佐の母の名前で  
あることを知り、どうしてそのような飛行機に母の名前  
をつけたのか理解ができませんでした。これからも原爆



# 原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

5 / 21

小学校の頃にも一度、池田先生の特別授業を受講させていただいた経験があります。

その当時の記憶と比べながら聴くと、かなり深くまで今日は教えていただいたなと感じます。

私が今日新たに学んだことは、「広島・長崎以外にも原爆投下都市候補」があったことです。それまた、ただの自然現象である気候で決めるという点に驚きました。もし広島・長崎ではなく都市に投下したならば状況や歴史が良くて大きく変わっていると思う。全ての都市で雨が降っていたのならばここまで被害が及ばなかったかもしれないという事実、に苦しく感じます。

2時間、9日間もの出来事を聴いてから池田義三さんのビデオを見ると本当に私も涙が流れそうになりました。お話されている点に情景も頭に浮かび、こんな<sup>事</sup>「思」をしている。現代人は比<sup>較</sup>にはならないほど幸せで、平和なんだと強く思います。

この平和な日々を大切に。無用な欲を抑えてこれからの人生頑張ろうと思います。

貴重な経験をありがとうございました。



## 原爆先生じゅこうの特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

5/21

原爆先生(池田眞徳先生)へ

今日は跡見学園に来て、授業をして下さり、ありがとうございました。普段の授業で原爆を扱うと、どうしても避けてしまいますが、今回の原爆先生のお話を聞いて、原爆についてきちんと向き合えなければいけないなと思いました。

授業を受講して、印象に残ったことがいくつかありました。

1つは、先生自身が演じてくれた原爆が落ちた時の音です。講堂で聞いた時は正直、鼓膜が破れるかと思いました。それを義三さんは、真夏で暑中、もっと大きな音で聞こえたと思うと、私だったら怖すぎて意識が戻ってもしばらく動けないと思います。しかもいつくるかわからない状況です。それでも国民を守るという義務を果たすべく、歩き出したのは本当にすごいと思います。

もう1つは、スクリーン13にある原爆投下目標地点についてです。私は中1の夏、東京大空襲について調べました。その時に「なぜ東京の江東区に爆弾(焼夷弾)を落とされたのか」考えました。当時思いついたのは「江東区は、川と川に挟まれているため、橋が壊れてしまうと逃げ場がなくなる」からでした。今の考えも当時と変わりません。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特<sup>じゅこう</sup>別授業を受講して

表

私は今回初めて原爆の話を読み、改めて原爆の恐ろしさと原爆が人々に与えるのを知りました。被爆した人達の顔は人かどうかも分からなくなっている輩だと聞いた時に私は被爆した人達の様子は想像することができましたが、顔がどのようなになっているかの想像をすることができませんでした。そして、原爆資料館にある被爆した人々を真似て作った人形が「綺麗すぎる」と一言だけ池田さんのお父さんが言っていたことで、私は人形を見たときに自分が想像していたものよりも酷い輩をしていると思いました。本当に被爆した人達を見た人は人形よりもっと私が想像できないほどの輩をしていたのだろうと思いました。最後の池田さんへお父さんのビデオメッセージの途中でもう話すことがつらくなり、涙を流す輩を見て原爆が人に与える影響は人体に与える被害だけでなく、人の心までも破壊<sup>壊</sup>するのだと感じさせられました。涙で声が出ない輩を見て原爆はもろろん、戦争は人に被害を与えるだけでなく、その人の今後の人生を破壊させることであり、破壊しか生まないため今後日本で世界で戦争はやってはいけないことだと思いました。前から戦争はしてはいけないことだと思えばいいましたが、今回被爆した人々の様子や池田さんのお父さんのビデオメッセージで戦争はしてはいけないとより強く思うことができました。ありがとうございました。



## 原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

今回の特別授業を受けて、戦争はとても悲惨なことが、改めてよく分かりました。私が一番印象に残って、<sup>驚</sup>いたことは、原子爆弾の火球の温度が、太陽よりも熱いということです。人間がそんな物を作ってしまうのは、本当に恐ろしいことだと思いました。

私は、小学6年生の時に1度だけ学校の行事で平和学習として、広島に行ったことがあります。そこで、私は、被爆者の方や被爆二世の方々にお話を伺いました。皆さんがとても辛い思いをされてきたのが、ひしひしと伝わってきて、今回のお話も含めて、少し泣きそうになってしまいました。それでも、76年前に起こったことを後世にずっと伝えて行かなければならないという被爆者の方々の姿勢がとても立派だと思います。

広島の原因で犠牲になってしまった人達はもう戻ってこれないけれど、もう二度とこの世界で、このような過ちが起きないように今度は私達が後世に語り継いで行かなければと思いました。

今回はとても引き込まれるようなお話をありがとうございました。